

そこまで言わんでモリエール

モリエール（４３） 座長

マドレーヌ・ベジャール（４７） 長年の恋人

アルマンド・ベジャール（２５） その娘でモリエールの妻

マルキーズ・デュパルク（３２） 看板女優

カトリーヌ・ド・ブリー（３５） 女優でモリエールの愛人

エドム・ウィルガン（５８） カトリーヌの夫

ミシェル・バロン（１２） 子役

ラグランジュ（３０） 役者・帳簿担当

マリー・ラグノー（２７） カトリーヌの小間使い

ラトリリエール（３９） 役者・契約担当・陛下謁見要員

ジャン・パティスト・リュリ（３３） 音楽家

ジャン・ラシーヌ（２６） 若手劇作家

一人６役

ジャン・レオノール・グリマレ 伝記作家

ラフォーレ モリエールの召使

クロード・エマニエル・シャペル モリエールの友人

シプリアン・ラグノー マリーの父・パティシエ・観劇おじさん

ドクトル・ダカン ルイ１４世の主治医 モリエールの大家

モンフルーリ ライバル劇団ブルゴーニュ座の看板役者

レザン夫人 バロンの元いた劇団の主催者

1673年3月

舞台はフランス パリ ラシーヌの屋敷

ラシーヌ アリストテレスや哲学者がなんと言おうが、煙草は最高だ。煙草をやれば、愉快になって頭の中が綺麗になる。煙草さえやれば、どんな来客相手でも愛想が良く出来るし、頼まれもしないうちから人の願いの先手を打ってやる事も出来る、煙草をやればどんな奴でも良い奴になるということだ

グリマレ なるほど、間接的に私は出来れば会いたくない来客だったと言いたいわけですか

ラシーヌ そりゃそうです。モリエールの伝記を書きたいから取材をしたいな
どと言ってくるような人物とは

グリマレ なぜです

ラシーヌ 私が彼を憎んでいる事くらいは知っているでしょう

グリマレ ええ、かつて師弟関係にあったのに仲違いしたというのは

ラシーヌ 師弟関係？言い過ぎだな。デビューの機会をもらっただけだ

グリマレ なるほど

ラシーヌ で、お名前は

グリマレ 作家をしておりますジャン・レオノール・グリマレと申します

ラシーヌ しかしまたなぜモリエールの伝記なんぞを

グリマレ それは彼から説明して頂きましょう

バロン やってくる

バロン お久しゅうございます

ラシーヌ ……バロンくんか

バロン よくわかりましたね。最後にお会いした時はまだ12歳だったのに

ラシーヌ ミッシェル・バロンほどの天才子役、忘れはせんよ

バロン ありがとうございます

ラシーヌ いくつになった

バロン 19になりました

ラシーヌ で、なぜ君が

バロン 先生が亡くなりました

ラシーヌ モリエールが
バロン はい
グリマレ 知らなかったのですか
ラシーヌ ええ、妻が死んで演劇界も引退し、あまり俗世のニュースは聞かなくなつたもので
グリマレ なるほど
ラシーヌ いつのことだ
バロン 先月の17日のことです
ラシーヌ 17日？
バロン ええ、姐さんの命日でした。偶然とはいえ旗揚げ以来の同志のちょうど1年後に後を追うとは
ラシーヌ 出来過ぎているな
バロン ここ数年常に体調は良くなかったのですが、あの日はひときわ酷かったのに、無理をして舞台にあがったところ、発作を起こしまして
ラシーヌ 舞台上で
バロン ええ私も止めたのですが、当日払いの賃金に生活がかかっているスタッフもいるのだ、舞台に関わる者として出演は責務だと強行しまして
ラシーヌ 当てつけだろう。舞台に穴を空ける相手をあれだけ口汚く罵った以上、自分が出ないわけにいかなかったただけだ。役者である前にまず人間である以上、健康が第一、死んでは元も子もない
グリマレ まあそれゆえ、生前の功績をたたえ伝記を作ろうということになりました
ラシーヌ で、なにゆえ私に
グリマレ いや、まずはこのバロン殿に聞いたのですが、褒める事しか言わないのです
バロン それはもう、両親が死んで極貧な生活にたえ、最初に入ったレザン夫人の劇団でもくすぶっていた僕を、引き抜いて育ててまでいただいた恩人ですから
ラシーヌ あの夜、あれほど劇団をやめたがっていた君がねえ
バロン あれは若気の至りです
グリマレ ゆえに、ラシーヌ殿にも証言頂きたいと
ラシーヌ 確かにそれは良いかもしれませんな

グリマレ ほう

ラシーヌ 私はおそらくけなす事しかしないでしょうから

グリマレ な

ラシーヌ ええ、あんな酷い奴はいないですよ。権力に取り入り、人を馬鹿にし、執拗に攻撃し、女癖も悪い、芝居のためなら人の道に外れた事も平気でする

バロン 言い過ぎではないですか

ラシーヌ いいすぎなものか、あいつは最低だ。最低の人間だ

バロン そこまで言わんで

みんな モリエール！

全登場人物 入ってきて盆踊りをする

♪「モリエール音頭」1番

花の都のパリ生まれ

芝居したいと志し

劇団立ち上げ 失敗するも

南フランス 喜劇の修行

パリに戻って 陛下の前で

成功したから 人気者

我らが大将 モリエール

1665年12月16日

モリエールの劇場

その日は「アレキサンダー大王」の上演が行われていた

その終演後である

ウィルガン いやあ、今日も受けたのう、最高や

カトリーヌ いや、あなた今回出てないでしょ

ウィルガン ええやないか、そこは

バロン ラグランジュさん

ラグランジュ なんだバロン

バロン 例の退団の話です

ラグランジュ 後じゃダメかな

バロン どうしても終わりの会の前に

ラグランジュ ダメなものはダメだ。君は今座長が書いてるメリセルトで既に役が与えられてるだろう。契約書にも「出演を約束した公演に出演をせず退団した場合全財産没収する」と書いてるし、あれは陛下の御前でする芝居だぞ、認めらるわけないだろう

バロン でも

ラグランジュ はいはい、みなさん終わりの会をはじめますよ

マルキーズ 帰ろうとしている

モリエール おい、マルキーズなに帰ろうとしてるんだ

マルキーズ 体調が悪くなくて

トリリエール 終わりの会の欠席は契約違反ですよ

マルキーズ すいません、おえおえ

マリー 大丈夫ですか？

マルキーズ ちょっと吐き気が

マドレーヌ ええん？

マルキーズ 吐き薬を飲めば

モリエール おい、薬なんか頼るな。医者が出すようなもん

マドレーヌ ほんま具合悪いくせに医者嫌いやな

モリエール ああ、医者なんて連中インチキばかりだしな。医者にかかろうと思ったら元気一杯で頑丈じゃなきゃな、病気と薬の両方に耐え抜くなんて出来ん、俺は病気に耐えるだけで精一杯なんだよ

マルキーズ 大丈夫です。これ、医者が出した薬じゃないです。黒魔術師してる友達が出してくれた薬で

カトリーヌ え、友達に黒魔術師がいんの？

ウィルガン しっかりしいや、可愛い顔が台無しやで

マルキーズ いえ

ウィルガン なんや、またルネのことを思い出して泣いとったんか

間

カトリーヌ あんたさあ

ラグランジュ はいはい、まずは、差し入れ発表です。マレー座さんより祝い
ワインもらいました

みんな ありがとうございます

ウィルガン なんや、これのし紙付け替えただけちゃうか

ラグランジュ シャペルさんより皆様に、ムッシュドーナツです

みんな ありがとうございます

ラグランジュ ミニヤールさんより皆様に、ムッシュドーナツです

みんな ありがとうございます

ラグランジュ フィリップ殿下からも皆様にムッシュドーナツです

ウィルガン なんや、ムッシュドばかりやないか

マリー 今、ムッシュド全品100ソルセールなんですよ

ウィルガン やめてほしいな食いきれんわ

ラグランジュ モデーヌ伯爵よりマドレーヌ姐さんに花束です

マドレーヌ ありがとうございます

ラグランジュ フロリモンさんよりカトリーヌ嬢に花束です

カトリーヌ ありがとうございます

ラグランジュ コルネイユさんより、マルキーズ嬢に花束です

マルキーズ ありがとうございます。

ラグランジュ ジュールタン伯爵よりアルマンドさんに花束です

アルマンド ありがとうございます。

ラグランジュ クリザルト氏よりアルマンドさんに花束です

アルマンド ありがとうございます。

ラグランジュ スガレナルさんよりアルマンドさんに花束です

ウィルガン なんやお嬢、モテモテやないか

アルマンド そうなんですよ。本当、みなさん私に夢中で

ウィルガン 座長も気苦労が耐えませんな

モリエール 苦々しい顔をする

ラグランジュ はいでは、トラブルチェックです。誰かあった人
マリー はい
ラグランジュ はい、マリー
マリー あの私受付にいたんですけど、タダで見せろって人がいて
カトリーヌ またですか
ウィルガン 陛下の親衛隊やろ、あいつら衛兵から金とるないうて抜刀してく
るからのう。もうタダで入れたらええやないか。刺されたらかなわん
モリエール いや、タダでみせていいわけないでしょう
ウィルガン でも怖いし
モリエール 例え、陛下の衛兵であっても芝居の前では平等だ
マリー あ、いやでも今日は衛兵じゃなくて
マドレーヌ じゃあ、誰
マリー マドマアゼル・ダカンという方で
アルマンド なに、家の大家のババアじゃん
マリー そうなんですか
アルマンド 嫌な奴なのよ。私がさ窓からウンコ捨てたらあのババアが頭から
被ったって怒鳴り込んできたのよ
ラグランジュ それ、声かけずにウンコ捨てたお嬢が悪いじゃないですか
アルマンド え、窓からウンコをすてることこそがフランスの国是じゃないの
マルキーズ すいません、あんまりウンコの話しないでもらえますか、気持ち
悪くなるんで
ラグランジュ すいません
モリエール まあ、旦那の方もやぶ医者やしな。ロクでもねえ夫婦だよ
ウィルガン でもいくら嫌なババアでもタダで入ろうとするもんか
マルキーズ すいません、私が招待したんです
アルマンド は？知り合いなんですか
マルキーズ 私の家もダカンさんがオーナーでして
カトリーヌ そうなんだ
マルキーズ 良くしてもらってるので一度見に来てもらえたらと
アルマンド え、あのババアに良く
マルキーズ ええ、旦那さんにも
モリエール 信じられねえな。あいつ揶揄する芝居書いたらガチで怒ってくる

ような奴だぜ
ラグランジュ よく大家を揶揄するような芝居書きますね
トリリエール そういうのはね、先に制作に報告してもらわないと出来ないんで、ちゃんと言っというて下さいね
マルキーズ すいません
ラグランジュ 他には
リュリ では
ラグランジュ ・・はい、リュリ
リュリ ラグランジュさん、ラストの台詞
ラグランジュ お前はもうマケドニア、ですか
リュリ ええ、音楽とずれていました
ラグランジュ すいません
リュリ すいませんで済む問題ではない。私が命がけで作曲した曲ですよ
ラグランジュ お言葉ですが、あれはラシーヌの本にあったものではなく、座長が急遽追加した台詞ですから、音楽と文字数があわないんですよ
モリエール 謝れ
ラグランジュ しかし
モリエール 俺の戯曲もこいつの曲も、作品とは大事な子供だ、それを間違えられるというのは、子供を汚されたのと同じだ。謝れ
ラグランジュ 申し訳ありませんでした
モリエール 他にトラブルはないならダメ出しだ
みんな お願いします
モリエール マルキーズ、元気がない
マルキーズ すいません
モリエール カトリーヌ、今回は娘役じゃないんだから、もう少し年齢いって
る感だせ
カトリーヌ はい
モリエール トリリエール、滑舌
トリリエール はい
モリエール アルマンド、第3場、目立ち過ぎだ。
アルマンド そうかしら
モリエール 今回はヒロインじゃないんだ。前へ前へするな

アルマンド でも、今日は伯爵が来てたから
モリエール 舞台はそういうもんじゃねえて言ってるだろ。いい加減にせえよ
アルマンド なによ。言ってくれるじゃない。結婚すると人は変わるわね。4
年前ならこんなこと言わなかったのに
モリエール うるせえな
アルマンド ちょっと式をあげたくらいで、いいところがなくなるんだから。同
じ女を前にして恋人と夫ではこうも違うのかしら
モリエール うるさい、いい加減にゴホゴホ
カトリーヌ 大丈夫ですか
モリエール だいじょうぶだゴホゴホ
カトリーヌ 休んだ方がいいですよ
マドレーヌ アルマンド、もうやめときなさい
アルマンド でも
マドレーヌ 妻らしく振る舞いなさい
アルマンド なによ妻らしさって
マドレーヌ 献身的に支えたり、愚痴を聞いてあげたり
アルマンド 独身の姉ちゃんに言われたくないんですけど
ラグランジュ お嬢
カトリーヌ いいですよ。愚痴なら私が聞きますから
アルマンド ……
カトリーヌ ええ、昨晚もずっと遅くまで愚痴ってましたから。愚痴はほどほ
どにして早くお休みになった方が良いて言ったのですが、おかげで私も寝
不足で

嫌な間

ウィルガン なんやカトリーヌ、昨日も座長のところか、帰らないならちゃん
といつとかなあかんで

哀れむような間

カトリーヌ ごめんなさい、あなた

ラグランジュ 次行きましょう。トリリエールさん謁見の報告を
トリリエール では。本日、先日の観劇のお礼に陛下に謁見して参りました
マドレーヌ なんとおっしゃってた
トリリエール 新作も、みな演技は素晴らしかったと

歓声 みな口々にありがたいという

マルキーズ 脚本についてはなにかおっしゃってました？
トリリエール ええ、本の出来もラシーヌというのは見所のある若者だと
マルキーズ 特に良かったて台詞とか聞いてません
トリリエール そうですね。「お前はもうマケドニア」

間

マルキーズ え、それですか
トリリエール ええ、それが一番笑ったと
マルキーズ ラシーヌが考えた台詞じゃないじゃないですか
モリエール だから言っただろ、あれは追加した方が良いつて
ウィルガン さすがやなあ
トリリエール 自分の脚本ばかりやるだけではなく、若者にチャンスを与えて
上演させて育てるモリエールは素晴らしいと
ウィルガン いやあ、ありがたいありがたいのう。
カトリーヌ いや、あなた今回ほぼ出てないでしょ
ウィルガン ・・そらそやけど
マドレーヌ まあ、ええやないの褒めてもらえたんやから
モリエール それより、他になにかおっしゃってなかったのか
トリリエール 珍は国家なりとか
モリエール いや言ってへんやろ。実際には言ってへんやろ
トリリエール あとはメリセルトはちゃんと書けているのかと
モリエール んなもん大丈夫に決まってるだろ
マドレーヌ まあ、筆の早さだけは自慢やもんね
モリエール それより。タルシェフのことだ

トリリエール タルチェフですか
モリエール いい加減上演禁止を解いてもらえないのか。
ラグランジュ 確かに、あれが出来れば大入り確実ですから
トリリエール 残念ながら、なにも
モリエール ……そうか
バロン あのタルチェフって
マリー ああ、去年上演やつなんだけど、教会を冒瀆してるって禁止にされち」
やっつて
トリリエール ただ、ここだけの話ですが
モリエール なんだ
ラトリリエール 皇太后様の体調が相当悪いらしく
モリエール そうか、それはありうるな
バロン どういうことですか？
モリエール 正直、禁止にするべく動いていたのは皇太后様だ。陛下は信仰を
盾にした偽善者どもを嫌っているからむしろあの作品には共感しているはず
だ、皇太后様の影響力が弱まれば
ウィルガン なんや、さっさと死ねばいいのにな
カトリーヌ 不敬やで
ウィルガン ……すまん
モリエール そうか、今こそ請願書を書くか
ラグランジュ いえ、まだ時期を見た方がいいかと
モリエール でも早くやりたいだろ
ラグランジュ 陛下は、揉め事に特に気をやんでおられるじゃないですか
モリエール どういうことだ
ラグランジュ 座長が無用に敵を作ることを良くは思っていないということですよ
モリエール ああ？風刺は陛下も喜んでくれてるだろう
ラグランジュ 作風は良いのです。ただ、批判されるとすぐムキになって反論
するじゃないですか、あれが不評なんです
モリエール そんなムキになってないよ
ラグランジュ いやいや、女房学校の時なんか酷かったじゃないですか
マドレーヌ せや、わざわざ女房学校批判なんて批判への反論で一本戯曲書く
とかやり過ぎやわ

モリエール しょうがねえだろ。俺だってもし気軽にみんなが見る場所で140文字くらいで反論出来るツールがあったらそっちでやるわ

マドレーヌ そうやって反論してるのが思うつぼなんや、あの時批判して来た連中がみんな本気で批判してたと思う？

モリエール どういうことだ

マドレーヌ 一番批判して来たヴィゼなんて今どうなん？

モリエール あいつは改心したからいいんだよ。可愛い奴だよ

マドレーヌ あんなんな、ほんまは最初からあんなのこと好きやから、お近づきになれるかもてやってきたんちゃうの

モリエール そんなこたねえだろ

マドレーヌ あんたはすぐ反論してくれるから、売名目的の奴がくんのや

モリエール わかったわかったわかった、じゃああれだ作品に批判されても無視すりゃいいんだろ、でもなプライベートの中傷まで黙れってか

マドレーヌ それは

モリエール やれ、モリエールの女はブスだの下手だの言われてんだぞ

カトリーヌ 私はいいですよ、気にしてないですから

一瞬間

ウィルガン お前は関係ないやろ、姐さんやお嬢のことやろ

また一瞬間、みな哀れむような目

マドレーヌ 言わせたい奴には言わせておけば

モリエール アルマンドなんかな。お前の娘や言われてんだぞ。つまりだ、自分の恋人の娘と結婚した、あいつは近親相姦やとまで言われてんだぞ。それを

間

モリエール ……すまなかった

マドレーヌ 私より、奥様のことを大事にきなさい

モリエール あ、ああ

アルマンドの方に近づくが無言

ラグランジュ とにかくです。無用な揉め事を避ければ、陛下も穏便な策はとっていただけるかと

モリエール そうかな

ラグランジュ そして、彼らを刺激しそうな台詞は書き換える。そうすれば

モリエール え、書き換えろってか

ラグランジュ ええ、たぶんあいつら劇場まで来て、やばい台詞言った時点で妨害しますよ

モリエール んなもんしたらたたき出せ

ラグランジュ それこそ揉め事じゃないですか

モリエール マリー。もし上演中に宗教関係者がきて台詞の邪魔したらその場で射殺しろ

マリー わかりました

ラグランジュ あかん、殺したらあかん

モリエール 普通に上演中に喋ってる奴も射殺していい

マリー わかりました

ラグランジュ あかん

モリエール 上演中に音の出る機械の電源を切らないやつは一族郎党皆殺しだ

マリー わかりました

ラグランジュ なんですか、それはいったいどんな機械なんですか

モリエール じゃあ我慢しろってか

ラグランジュ すべては上演解禁のためです

モリエール わかった

ラグランジュ 待ちましょう

モリエール でもなあ、早くやりたいしなあ、書き換えるのはなあ

リュリ ……だったら、こういう手はどうでしょう

モリエール なんだ

リュリ 上演禁止令の文面は

トリリエール はい、「タルチェフを公の場で上演する事は禁止する」ですね

ラグランジュ ええ
リュリ つまり私的な場所でやるなら問題ない
トリリエール 確かに
ラグランジュ いやいやいや、それは屁理屈でしょう
リュリ 確か、今度貴族の館で出張公演がありましたよね
トリリエール コンデ大公の館です
リュリ そこでこっそりやっつけてしまえばいい
ラグランジュ いや、そんなことしたら、教会関係者が怒りますよ。それこそ揉め事になっちゃうじゃないですか
リュリ でも上演は出来る、コンデ大公なら宗教関係の客はいないから台詞をかえなくてもばれない
ラグランジュ 劇場で出来なきゃ意味がないんですよ。出張公演なんてどうでなに上演したって値段一緒なんですから。劇場で、評判が良い芝居やるから売り上げあがるわけでしょ
リュリ 失礼だな。君は、先生が売り上げだけのことを考えてタルチェフを上演したいと言ってるというのか
ラグランジュ え
リュリ 君は役者だからわからないかもしれないがな、芝居と音楽の違いはあれど、僕たちは作品を創る人間だ。作品はな、子供なんだ。例え1ソルにならなくても、大好きな子供を晴れの場に、完璧な形で上演したい、そのためならどんな事もする。そんな思いがわからないのか
モリエール その通りだ
リュリ 先生
モリエール 作品のためなら人の道に外れることもする。当然の事だ
リュリ おっしゃる通り
モリエール 良く言ってくれたリュリ、ありがとう。
リュリ 当然です
モリエール それでいこう、とりあえずコンデ大公の館でやる
ラグランジュ 座長
モリエール なんだ
ラグランジュ あまりリュリの言うことを聞きすぎないで下さい。音楽家とはいえ、劇団員ではないんですよ

モリエール 奴の貢献を無視するのか
ラグランジュ 彼の不道德な噂は聞いているでしょう
モリエール そんな噂を信じるのか
ラグランジュ 神に逆らう行為じゃないですか
モリエール 私はそうは思わんがな
ラグランジュ 所詮、イタリア人ですよ。顔の作りからして我々フランス人とは違う
モリエール 顔の作りが違うのは同意だけど、我々がフランス人ぽいかといえ
ば
リュリ お邪魔でしたら帰りますよ
モリエール 気にしないでくれ
ラグランジュ 座長
モリエール 次の議題だ
ラグランジュ はい、では最後に、収益発表します
モリエール ああ
ラグランジュ 今日は460リーブルでした。ありがとうございます
アルマンド ・・え、1400じゃなくですか
ラグランジュ はい、460リーブルです
アルマンド え、でも一昨日までは1000超えてましたよね
ラグランジュ はい
アルマンド 半分以下ですか
ラグランジュ 残念ながら
カトリーヌ 悔しいですね
ウィルガン なんや、みんな落ち込むなや。客入りは悪かったかしらんが、
陛下からお褒めのお言葉が来たんやから喜ばんと、なあモリエールくん
モリエール いや、それはおかしいでしょう
ウィルガン え
モリエール 動員が少ないのに喜んでるようじゃ、演劇人失格でしょう
ウィルガン ・・・ううん
モリエール 抱き合わせだ
ラグランジュ 抱き合わせ？
モリエール 「アレクサンダー大王」、出来は良いが悲劇だ。喜劇目当ての客

が来てないんだろう。次から短編と同時上演する。

ウィルガン ちょっとまちいや

モリエール なんです

ウィルガン 次いうても、明後日やで、稽古が間に合うかいな

モリエール 心配ない、あんたは出さないから

ウィルガン なんやと

モリエール ウィルガンさんね、あなた2時間の芝居で5分くらいの出番だか

ら耐えられるんだからね、20分くらいの短編じゃ下手過ぎて無理だから

ウィルガン そんなはつきり言わなくても

モリエール すまんが、今日明日は稽古だ。

アルマンド ええ、今から？嫌だ

モリエール わがままいうなよ

アルマンド 明日は伯爵の家でパーティーがあるから

モリエール だからやたらそういうところに行くなって言ってるだろう

アルマンド タニマチとつき合うのも座長夫人のつとめでしょう

カトリーヌ じゃあ、いいんじゃないですか。お嬢は出なくても

モリエール そうだな

アルマンド えー、それも嫌だ

モリエール どっちなんだよ。お前は

アルマンド 私が出なきゃ、私目当てのお客さんはどうなんのよ

モリエール 本編には出てるからいいだろ

アルマンド 本編だって今回はちよい役じゃん

モリエール 産休空けでたいへんだからちよい役にしてやったんだろ

アルマンド ええ、そんなん頼んでないんですけど

モリエール だいたい、いつでもヒロイン貰えると思うなよ。産休なくてもア

クシーヌはマルキーズの方があってただろ

マルキーズ あの

モリエール なんだ

マルキーズ すいません

モリエール どうした

マルキーズ 私も遠慮させて頂けませんか

モリエール なぜだ

マルキーズ 明日は予定が
モリエール なんの予定だ
マルキーズ ちょっと
モリエール ちょっとじゃわからん
マルキーズ どうしてもはずせない予定が
モリエール はっきりいえ
ラグランジュ そう責めなくても
モリエール でもよ
マドレーヌ はい落ち着くー。マルキーズ、どうしても言えない
マルキーズ ・・・はい
マドレーヌ じゃあ、仕方ないわね。マルキーズはなしでいきましょう
モリエール でもよ
カトリーヌ そうですね。私と姐さんだけで出来る短編はいくらでもあるじゃないですか
アルマンド だから私はでるって
マドレーヌ 元々の休日の契約はどうなっていましたか
トリリエール はい、休日に指定した日に稽古を追加する場合は必ず了承を得ることになってますね
マドレーヌ なら無理じいしない
モリエール しゃあない。じゃあお前は出なくていい
マルキーズ いや、それもそうなんですけど
モリエール なんだ
マルキーズ その、そもそもですね。抱き合わせをしない方がいいんじゃないかと
モリエール 何故だ
マルキーズ その、前回のラシーヌさんの本で公演した時も抱き合わせしたじゃないですか
モリエール ああ
マルキーズ せっかくのデビュー作、抱き合わせにされたことすごいショック受けてたんですよ。
モリエール そうなの？
マルキーズ だから今回もしたら、座長は評価してくれなかったってだいぶし

よげるんじゃないかなって
モリエール でも、まだあいつの作品だけじゃ客呼べねえんだからしゃあねえ
だろ
マルキーズ でも
トリリエール まあまあ、契約上、抱き合わせにしないなどとは一言もいって
ませんので
マルキーズ なんでも契約契約って
モリエール そういうこった。どうする
カトリーヌ 女優が少ない短編なら「トンデモ医者」がいいんじゃないですか
マルキーズ ・・でもあれはルネさんのアドリブあつての芝居じゃないですか
モリエール お前は出ないんだから黙ってろよ
マルキーズ すいません
カトリーヌ 私と姐さんがメインなら、才女気取りとかどうですか？
ラグランジュ ただ、あれは端役で女優があと二人います
モリエール まあ、一人はアルマンドとして
アルマンド えー、端役？主役が良い
モリエール うるせえな、あれはこの二人にあて書きしたんだからわがままい
うな
マリー だったら私出たいです
モリエール お前が
マリー はい、ずっと言いたかったんです。私、舞台に立ってみたいんです
カトリーヌ マリー。いきなり失礼じゃない？あなた小間使いでしょう
トリリエール そうですね、君、あくまでスタッフ契約ですからね
マリー でも、役者がしたくなつたんです。出させて下さい
ウィルガン おお、ええやないか、出たい言うてんだし
カトリーヌ あんたは黙ってて
モリエール わかった
マリー いいんですか
モリエール とりあえず本読みだけしてみるか
マリー ありがとうございます
モリエール ラグランジュ
ラグランジュ はい

モリエール 戯曲は
ラグランジュ すぐに用意出来ます
モリエール とってこい
ラグランジュ はい

ラグランジュ とってくる

バロン あの、そろそろお話を
モリエール おお、バロン。大丈夫だったか？つまらなくなかったか
バロン お話が
モリエール いや、確かに。演技と違って終わりの会なんか面白くないだろ
う。ただなお前にはただ演じるだけの役者にはなってほしくないんだ。見た
だろ？役者ってのは本当に自分さえよければ良いワガママな連中だ。主宰
てのはな、そんな連中を食わせて不平不満を抑えて運営しなきゃならん。お
前にはそれを覚えて欲しいんだ
バロン だったらまず僕の不満を
モリエール 不満、不満があるのか？
バロン はい
モリエール ああ、そうか、お前も才女気取りに出たいんだな。いや、気持ち
は有り難い、有り難いが、お前が出るほどの作品じゃない、お前は大事に大
事に陛下の御前でデビューさせたいんだ
アルマンド 本当、バロンには甘いんだから
モリエール そりゃそうだろう期待のホープなんだから
アルマンド 鼻直し過ぎなのよ
モリエール (遮って) いいか、うちは女優は揃ってるが、ルネが死んでから男
は看板がないだろう。バロンを育てなきゃならないんだ、わかってんのか
バロン いや、そのことなんですけど
モリエール じゃあ、お前ルネの代わりになれるのか、あいつみたいに笑いと
れるのか、あいつみたいに脚本に「アドリブで面白い事をする」て書いてて
実際に面白い事が出来るのか、もう体型だけでもいいや、あいつみたいにと
りあえず太って笑わせるとか出来るのか
アルマンド 私にそれ求めるのはおかしいでしょ

ラグランジュ 戻る

ラグランジュ もってきました。

モリエール よし、マリー。16 ページだ。

マリー はい

モリエール 小間使いのマロットを読み

ウィルガン お、ぴったりやな

モリエール トリリエール、相手役を

トリリエール この稽古は一応、時間外稽古となりますので、その分の給金は

モリエール じゃあいいよ。ラグランジュやれ

ラグランジュ はい

マリー 光栄です

マルキーズ じゃあ、私はこれで

モリエール はい（手を叩く）

ラグランジュ マロット、マロット、どこにいる

マリー はい

召使 頭だけ出す

召使 旦那様

モリエール 稽古中に入ってくんなよ

召使 お客様がお越しです

モリエール 誰だよ

召使 シャペル様がおこしです

モリエール シャペル？いいよ通さなくて

召使 でももう来ておられまして

バロン どなたなんですか？

カトリーヌ ああ、座長の古くからのご友人なんだけども、ちょっとうっとおしいというか

召使、そのままシャペルになる

シャペル よう、ポ克蘭

モリエール 本名で呼ぶな本名で

シャペル 元気？

モリエール いいか、とりあえず会って元気？て聞くのが無難な挨拶になるのは普段元気なことが多い奴に対してであって、俺がここ最近元気だった事があるか？

シャペル え、まじで？ずっと具合悪いん？

モリエール 本当、人の話も状態も気にかけないやつだな

ラグランジュ シャペルさんなにしにきたんですか

シャペル え、用がないと来たらあかんの？

モリエール ああ。楽屋は用もない関係者でもない人間が来る場所ではないわな

シャペル 友達てのはさ、用がなくてもふいにきて楽しく語り合うもんじゃないかなあ

モリエール お前は楽しいかもしれないが、俺は今お前と話しても楽しくないんだ

マドレーヌ あんな、シャペルさん今稽古中なんよ

シャペル 稽古？そりゃついでななあ。やってよやってよ

モリエール なんで部外者に見せなきゃなんないんだよ

マルキーズ そっと帰ろうとしている

シャペル (聞いてない) あれ、マルちゃん、帰んの？

マルキーズ はい

シャペル えー、いなよ、せっかく来てんのに

マルキーズ いや、あの予定が 酒くさ (吐き気)

マドレーヌ 大丈夫？

マルキーズ すいません

マドレーヌ 休んどき

モリエール お前、酔って楽屋に来んなよ

シャペル 酒ほど愉快なものを飲む時間を限定するなんて不幸な人生だと思わないかい

モリエール そりゃお前が働いてないから言えるんだよ

シャペル (聞いてない) あ、もしかしてこの子

バロン あ、あの

シャペル この子だよ、言ってた天才子役

モリエール 話しかけんなよ。びっくりするだろ

シャペル あ、僕ね、クロード・エマニエル・シャペルいうてね。

リュリさえぎる

シャペル どうしたの

リュリ ウィルガンさん。シャペルさんをおもてなしなさっては

ウィルガン わしが？

リュリ 今からやるお話のご説明をなさってはいかがでしょうか

ウィルガン なんでわしが

リュリ それはもう、劇団一の古株であるウィルガンさんが解説するのが一番
適役かと

シャペル それはいいなあ

ウィルガン そやな、任しとけ

シャペル お願いします

ウィルガン これはね。5年前に初演した才女気取りという作品でね

モリエール 助かった

リュリ 目には目を歯には歯を、うざい人にはうざい人

ウィルガン これはもう傑作な話でしてね

マリー稽古をはじめ

シャペル あの子はみない子だけど新人？

ウィルガン これは、昨今の貴族の娘の一部がね、やたら知識ばかり溜め込ん
で頭よさげにふるまってるのを揶揄した作品でね

シャペル へえ、なかなか良い子だね

ウィルガン 宮廷でも随分受けた作品でしてね

シャペル どこの子なん

モリエール うるせえな。
ウィルガン この役は妻、つまりカトリーヌの当たり役の一つで
モリエール 会話になってねえだろ。質問に答えろよ
マドレーヌ こっち集中しましょう
ウィルガン えっと質問て
モリエール こいつが、どこの子か聞いているだろ
マドレーヌ 稽古見なさい
ウィルガン ああこの子はマリーラグノーで、あのパティシエのシプリアン・ラ
グノーの娘なんですよ
シャペル あああの観劇おじさんの
ウィルガン そうそう、どこの芝居行っても必ず見に行ってるもんな。
シャペル ほんまですよ。昨日のブルゴーニュ座の宮廷公演まできてたらしい
ですよ。なんでただのお菓子屋が宮廷まで潜り込んでんねんて
ウィルガン ほう、ブルゴーニュ座、宮廷でしたんか
シャペル そう、おたくでもやってるラシーヌの新作を
ウィルガン ほう、ラシーヌくんの
シャペル そうらしいぬ って

二人だけうけてる

モリエール ちょっとまで今なんつった
シャペル そうらしいぬって、
モリエール どういう意味だ
シャペル ああ、これはそうらしいね、とそうラシーヌというのをかけていて、
いわゆる言葉遊びという
モリエール うるせえよ、ラシーヌの新作ってなんだ
シャペル そりゃ、今お前んどこでやってるやつじゃないの
モリエール どういうことだ
トリリエール なにも聞いてませんが
モリエール わからないことないだろ。さっき宮廷行ってきたんだろ
リュリ つまり、ラシーヌの新作が流出しているということでしょう
モリエール なんでやねん

リュリ そりゃ、戯曲をもった誰かが
モリエール 誰やねん
ラグランジュ わかりませんよ
アルマンド 私のわけないでしょ
カトリーヌ 私だって
マルキーズ 私も
トリリエール 私が契約に反することをするとお思いますか
ウィルガン わしはもともと役がないから本はもらっとらんぞ
マリー 私もです
モリエール じゃあ、誰やねん
マドレーヌ まちいや。スタッフまで含めたらだれかなんて特定できんやろ
モリエール そうだけど
マドレーヌ だいたい、出版されてない本を盗んで他劇団に渡したって、ラシーヌに訴えられたら負けやろ
リュリ いや、一人だけ出来る人はいる
モリエール 誰だよ
リュリ ラシーヌ本人です
カトリーヌ ラシーヌさんが
リュリ 本人が持ち込むなら訴える人はいない
マリー でもなんで
シャペル そりゃ、お前んとこの出来に満足出来なかつたんちゃう？

間

モリエール お前はいつまでいるんだよ
シャペル あかん？
モリエール 帰れよ
シャペル え、なんだよポ克蘭ポクラーン

追い出される

モリエール ラシーヌの野郎、裏切りやがったのか

マルキーズ まだ裏切ったかどうかは
モリエール じゃあ、なんで向こうに脚本があるんだ
カトリーヌ 例えば、「アレクサンダー大王」とは別の新作かもしれないです
よ
トリリエール 確かにそれなら契約違反にはなりませんね
モリエール そうだとしても、俺に世話になつて不義理だろ
リュリ まずは事実確認を
モリエール そうだな。おい

召使 頭だけ出す

召使 はい
モリエール 使いをだせ
召使 どちらに
モリエール ラシーヌの家だ。今すぐこいと伝えろ
召使 かしこまりました

召使さる

マリー あの、オーディションの続きは
モリエール あ？それどころじゃねえだろ
マリー でも
モリエール なら、一発 OK できるような芝居してからいえや
ウィルガン まあまあ、そない怒らんでも
モリエール あ？あんたになにがわかるんだ
ウィルガン そんな
モリエール 出てへんから比べられる屈辱もわからんやろけどな
ウィルガン そやけど
バロン すいません。僕もなんでみなさんが怒ってるのかよくわからなかった
んですけど
ラグランジュ うーん、つまりね。今、うちで上演してる「アレクサンダー大
王」、あれはラシーヌがうちのために書き下ろした本なのは知ってるよね

バロン はい

ラグランジュ それを、上演が終わる前に勝手にライバル劇団に持ち込まれたらどうなる

バロン どうなるんですか

ラグランジュ まあ本当の演劇好きなら、同じ戯曲を違う劇団でしているなら2本とも見て見比べようとするだろう。けど、残念ながら世の中には「話の筋を知ってる芝居なんか2回見てもしやあない」なんて新作至上主義の観客もたくさんいるんだ。他所でやられちゃお客さんが半減しかねない

トリリエール そもそも契約書でも、公演終了までうちで独占契約するとしてるからねえ

召使戻る

召使 使いを出しました

モリエール ご苦労

召使 ただ、ご主人様

モリエール なんだ

召使 使いを出しても、自宅にはいらっしやいませんよ

モリエール なんでわかるんだよ

召使 だってここにいますもん

ラシーヌ 召使に押し出される

ラシーヌ ・・どうも

ウィルガン なんやお前

ラグランジュ いつからいたんですか

ラシーヌ 5分前からです

アルマンド じゃあ、なんで入って来なかったんですか

ラシーヌ いや、召使さんにこちらで待てと言われてましたんで

モリエール だったら、なんで通さないんだよ

召使 いや、ここにいるのになんで使いを出すのか不思議だったんですよ

モリエール もういいよ。お前どっかいけよ

召使さる

マルキーズ なにしに来たのよ

ラシーヌ 早く弁明をしないって

マルキーズ 弁明聞くような人じゃないでしょう

ラシーヌ でも気持ちを

マルキーズ (制止する)

モリエール さて、聞いていたなら話が早い。説明してもらおうか

ラシーヌ はい

モリエール 昨日宮廷で行なわれた君の新作をブルゴーニュ座が上演したって
のは事実か

ラシーヌ はい

モリエール それは「アレクサンダー大王」で間違いないのか

ラシーヌ はい

モリエール どういうことだ

ラシーヌ ええと

アルマンド なんでそんなことしたんですか

ラシーヌ それは

ウィルガン セや、はっきりいえ

ラシーヌ ええとですね

リュリ さあ、遠慮なく

ラシーヌ あの

ラグランジュ ちょっとみなさん怖過ぎませんか

アルマンド しゃあないじゃん

ラグランジュ 完全にびびっちゃってるじゃないですか

マルキーズ では、私からいきます

モリエール なんてお前が

マルキーズ 私も相談受けてたんで

ラシーヌ マ、デュパルクさん

マルキーズ 非常に悔しいですがシャペルさんの言う通りです。我々のアレク

サンダー大王は、ラシーヌには満足出来なかったようです

ウィルガン なんてや、わしらちゃんとやってたやろ

カトリーヌ いや、あなた出てないでしょ
ウィルガン せやけど
トリリエール しかしね、こちらは独占契約があるんだよ。許されると思っ
てるのか
ラシーヌ あの、ですから頂いた契約金はすべてお返しするつもりです
トリリエール ならいいか
ウィルガン ならいいんかい
トリリエール 金返すつつうならこちらとしてはどうしようも
モリエール それでもだ。仁義の問題や
ラシーヌ もちろん、お世話になったモリエール先生の顔に泥をぬる結果にな
って
モリエール 結果って、そうなることはわかりきってるだろ
ラシーヌ 言い訳になりますが、一応、劇場公演はモリエール劇団での公演終
了を待ってからって約束だったんです。まさか、先に宮廷でやるなんて
アルマンド それでも、本番終わる前に向こうに本渡して稽古させてる時点で
どうなんですか
ラシーヌ おっしゃる通りです
モリエール 落とし前、どうつけるつもりだ
ラシーヌ 落とし前って
アルマンド そうよ。金を払わないだけで済むと思ってんの
マルキーズ じゃあ、どうしろっていうんですか
モリエール 無名の作家だったお前をここまで引き上げて上演までさせてやっ
たのは誰だと思ってんだ。それを裏切るとか人の道に外れてるだろう
ラシーヌ おっしゃる通りです
モリエール お、認めたな。認めたな。
ラシーヌ はい、人として許されない事をしたと思います
モリエール だったら、落とし前つけろいうとんのじゃ
ラシーヌ 落とし前って
モリエール 落とし前は、落とし前じゃ ゴホゴホ
マドレーヌ 落ち着きや
モリエール でもよ
ラグランジュ そうです。揉めない、揉めない

モリエール だからってゴホゴホ
カトリーヌ 大丈夫ですか
モリエール ああ
マドレーヌ ほな説明してもらおか。うちの「アレクサンダー大王」満足出
来なかったんか
ラシーヌ はい
マドレーヌ どこらへんがや
ラシーヌ ええと
モリエール 怒んないから、はっきりいえ
ラシーヌ 座長と
モリエール いってくれるじゃねえかよ
ラシーヌ 怒んないって言ったじゃないですか
モリエール おお、続けろ
ラシーヌ お嬢と
アルマンド はあ？私の芝居が、ちょっと見る目ないんじゃないの？
ラシーヌ 姐さんとラグランジュさんとカトリーヌさんとトリリエールさんと
ラグランジュ ほぼ全員じゃないか
ラシーヌ あと、演出も
モリエール ・・ちっ
ラシーヌ あと音楽も
リュリ 言ってくれるな
ラシーヌ あと照明と、衣装と、小道具と、舞台美術と
ウィルガン 全部やないか
マリー あの、それなんでそもそも最初にうちに持ち込みしたんですか
ラシーヌ いや、あの僕喜劇でしたら、みなさんの大ファンなんですよ。こん
な面白い劇団ないと思いますから
ウィルガン せやろ、わしらちゃんと笑いとってるやろ
カトリーヌ いや、あんたは一度も笑いとったことないやん
ウィルガン せやけど
ラシーヌ ただ、悲劇の場合は
アルマンド なに悲劇は下手だっていうわけ？
ラシーヌ いやあの

バロン 実際そうじゃないですか

みんなバロンの方向をみる

アルマンド 今なんていった

バロン 実際そうじゃないですか

カトリーヌ ちょっとなにを言ってるの

バロン いや、僕から見ても、面白くなかったですよ

アルマンド あんたね。なに生意気な事言ってるのよ

モリエール まてバロン。本当にそう思ってるのか

バロン はい

モリエール よし、聞こうじゃないか

アルマンド 甘くない？

モリエール わかって言ってるなら、たいしたものだ

バロン はい、確かに喜劇は面白いですが、悲劇を書けているとは思えません

モリエール どころへんがだね

バロン まず、悲劇に必要な芸術的規則制を守っていない

モリエール ふむ、よく勉強しているな

バロン 役者の皆さんもお上手ではない

ウィルガン なんやと

バロン そもそも先生は悲劇向きの顔じゃないじゃないですか

アルマンド 人の旦那の顔に

モリエール はっはっは、いいじゃないか。確かに気持ち悪い顔してますよ

バロン にも関わらず、ラシーヌさんの戯曲を無理して上演して、その良さを殺しているんじゃないですか

モリエール 俺の演出が殺していると

バロン なんですか、あの「お前はもうマケドニア」って

モリエール あれは、お前たちは負けたぞってのと、ゆえにこれからはマケドニアの国民として生きろって意味が

バロン 駄洒落の解説は聞いてない。そのせいでせつかく綺麗な韻を踏んでた戯曲だったのに、散文になっちゃってるじゃないですか

モリエール そうだな

バロン ラシーヌさんはいいんですか
ラシーヌ え
バロン 自分が命がけで書いた戯曲に、勝手にお前はもうマケドニアなんて書かれて
トリリエール 契約では台詞の追加はありうるとしてるから
バロン 契約の問題じゃない。いいんですか
ラシーヌ それは辛いです。お前はもうマケドニアは
バロン ほら
アルマンド あんたね。生意気に
モリエール いや、いい。バロン
バロン はい
モリエール やめたいのか
ラグランジュ 座長
モリエール 面白いと思えない人の下にいるのは辛いだろう。
バロン はい、やめたいと思ってます
モリエール やめてどうする
バロン レザン夫人の劇団に戻ります。もう迎えも呼んでます
トリリエール しかし、君はメリセルトまで契約が
バロン 確か、やめたら全財産没収でしたよね
トリリエール そうだ
バロン いいですよ。どうせ、僕はみなしごですから。財産なんかこの服くらいですよ
トリリエール そう。じゃあ着替えて来て
モリエール いらねえよ、そんな服。抑止のために書いてんだよ。実際に没収出来るわけねえだろ
バロン リュリさんさっきおっしゃいましたよね
リュリ なんだ
バロン 作り手にとって作品は子供だ。子供は最高の晴れの場で最高の形で上演したいと
リュリ 言ったな
バロン 先生も同意しましたよね
モリエール ああ

バロン 僕も一緒です。僕は、役者ですから最高の晴れ場で最高の演技をしたい、まともに悲劇を書けない。まともに悲劇を上演出来ない劇団にいてもキャリアになりません

アルマンド 生意気に

バロン それとも先生は、前言を撤回して人の道を外れない方が大事だとおっしゃるんですか

リュリ ……一本とられたかもしれませんな

モリエール 良く言った

ラグランジュ 座長

モリエール 確かにその通りだ。脚本家なら自分の作品を一番良い環境にするためなら、役者なら自分が一番よい舞台に立つためなら、人の道に外れようともかまわん

カトリーヌ いいんですか認めて

モリエール ああ、一度口にした事を飲み込むわけには行かないだろう

バロン じゃあ、僕の退団もラシーヌさんも認めてくれるんですね

モリエール ……しかしだ。このケースでは間違っている

マルキーズ え？

モリエール なぜなら、お前はレザン夫人の劇団なんかよりうちにいるのが一番だからだ

バロン え？

モリエール まず。俺の戯曲は、規則性を守っていないから、よくない悲劇だという点だ

バロン 実際そうじゃないですか、アリストテレスやホラティウスの著作に通じているなら、規則を守ってない事くらいわかりますよ。

モリエール ああそうだ。しかし、それが重要かね。馬鹿な作家たちの話を聞いているとまるでそれが世界一重要な秘密みたいに聞こえるがね。そもそもその規則ってのは、芝居の楽しみを削がないための知恵から生まれたルールだろう。ようは客に受けたかどうかじゃないか

バロン はあ？

モリエール 規則通りに書いた芝居が受けなくて、受ける芝居が規則にかなってないなら、規則が間違っているんだ

バロン なんて傲慢なんだ

モリエール 飯だっとうまけりゃレシピ通りに作ってるかどうかなんか気にしないだろう

バロン じゃあ、プロターズは？エピターズは？ペリペシはどうなるんですか

モリエール おうおう、覚えてたの専門用語を使ってみたくなるなんて可愛いじゃないか。アホな批評家たちにそっくりだ

バロン 馬鹿にするな

モリエール いいか、知識をひけらかすのは知識人ぶりたいやつか、子供のやる事だ。ギリシャ語を使えば箔がつくなんてことはない、普通の言葉でみなにわかるように言わなきゃならん。アルマンド

アルマンド なに

モリエール プロターズってなんだ

アルマンド え

モリエール カトリーヌ

カトリーヌ はい

モリエール エピターズってなんだ

カトリーヌ ええとですね

モリエール トリリエール

トリリエール はい

モリエール ペリペシってなんだ

トリリエール すいません契約用語以外興味ないんで

モリエール そうこいつらにそういって、演出つけたってわからないんだから、導入、山場、結末って言ってやりゃあ良いんだ。そして、こいつらがその専門用語をしらなくても、ちゃんと役者をやっている

ウィルガン セや、ペしペしなんか聞いた事ないけどやっとりぞ

モリエール いや、あんたはちゃんとした役者じゃない

ウィルガン セやけど

モリエール 次にだ。まず確かに、俺は悲劇は苦手だ

カトリーヌ 結局認めちゃうんですか

モリエール わかるやろやってたら、20年前は悲劇ばかりやって1回劇団潰したし、4年前も失敗した

カトリーヌ そうですけど

モリエール しかした。それがどうかしたかね

バロン どうかするでしょう。

モリエール 悲劇が苦手な劇団ではキャリアにならないというのはつまり、お前は喜劇を悲劇より下に見てるということだな

バロン 違うんですか

モリエール それもまた馬鹿な批評家のいうことを真に受けてるだけだろう。

喜劇などくだらない、崇高な悲劇は受けないああ嘆かわしいフランスの恥だとかいうな

バロン . . .

モリエール いいか、悲劇は確かに美しい、しかし喜劇には喜劇の良さがある。

いやむしろ喜劇の方が作るのは難しいとさえ言える。悲劇のように大げさな感情でもったいづけたり、運命に挑戦する台詞を言ったり、運命の仕打ちを嘆いたり、神々を呪ったりする方がよほど簡単だ。が、喜劇をつくるには、風刺を書くには、人間の滑稽さをよく観察して、その欠点を舞台上にあげなくちゃならん。それだけじゃない、悲劇に出すような英雄なら似てなくても良い、格好良けりゃ受けるんだから。しかし、生きてる人間を描写するならわかりやすく描く必要がある、これはあの人のあの発言が揶揄なのかなくてわからなければ笑いにならん。一言でいえばな、悲劇は上手に書けてりゃ良いが、喜劇は笑いをとらなきゃならないんだ。それがどれだけ大変なことかはわかるだろう

バロン なにかを言おうとするが反論できない

モリエール 喜劇は、風刺は、けして悲劇に劣る物ではない、芸術に必要な両輪だ。よって悲劇が苦手な俺の下にいてもダメだという結論は間違ってる

マルキーズ あの、だったらですよ

モリエール なんだ

マルキーズ なんで、ラシーヌの持ち込み、採用したんですか

モリエール それは

マルキーズ 悲劇をする必要ないなら、最初から門前払いすればよかったじゃないですか

モリエール あの時はタルチェフが上演中止にされてやる演目がなくて、穴埋めにちょうどよかったから

ラシーヌ 穴埋めだったんですか

モリエール あ、じゃあ公演中止にしときゃよかったのか？お客様に芝居しますよって告知しといて中止にするとかありえんだろうが、昨今は本が間に合わないだのクオリティが低いだので中止にする外道どももいるがな、そんなことで中止にする奴が、謝っただけで歩いてるなんざおかしいだろう

バロン それは失礼じゃないですか。穴埋めなら自分の本でやれば

モリエール 後進を育てるのも役割やろ。俺のおかげで、上演する場があったわけだろう

バロン なんて恩着せがましいんだ

モリエール それを出来が気に入らねえから、よそでやりたいだあ？人の道に外れてるだろう

バロン いやいや、人の道外れても良かったんじゃないですか

モリエール そうだった

マルキーズ だったら解放していいんじゃないですか

モリエール なに

マルキーズ 人の道に外れても自分の納得いく作品になるように行動する。ラシーヌのしたことは先生の教えを忠実に守った行動じゃないですか

モリエール 確かにそうだが

マルキーズ 認めないと、言動不一致になってしまいますよ

モリエール それはかっこ悪い

マルキーズ みなさん、作者から納得いかないとか思われてるのに舞台にたつの嫌じゃないですか

リュリ まあ、確かに不愉快ですな

マルキーズ でしょう。私自身はアクシーヌ役、自信を持ってやってるのに、納得いかないとか言われるんなら勝手にしろですよ

モリエール しかしだな

マルキーズ 私たちは喜劇の劇団として、陛下から認められたんです。こんな恩知らずの芝居をやり続けて宣伝してやる必要なんかありませんて。お客様には明後日からは過去の再演して思い切り笑って頂いた方がよいと思いませんか

リュリ 一理ない事はないですな

マルキーズ 切りましょうよ縁。こんな恩知らずとは。

ラシーヌ マルキーズ

マルキーズ 穴埋めなら、ヴィゼの本でもいいんじゃないですか。座長のことが好きで、論争吹っかけてきたような奴でしょう。可愛いじゃないですか。

彼なら裏切りませんよ

モリエール 確かにな

マルキーズ どうですか座長

モリエール ……そうだな

召使 顔だけ出す

召使 旦那様

モリエール かつこよく決めようとしてる時にでてくんなよ

召使 シプリアン・ラグノー様がおこしです

マリー お父さんが

召使 どうされますか

マリー すいません。通さなくて良いですよ

召使 ラグノーになる

ラグノー なんだマリー通さなくて良いって

マリー くんなよ親父

ラグノー 迷惑そうな顔するなよ

マリー 迷惑なんだって

マドレーヌ 何のようなんラグノーさん

ラグノー 新作のケーキを作ったんでみなさんにお届けに

カトリーヌ わあ、ありがとうございます

マリー いや、届けなくていいから

ラグノー 別にお前は食わなくて良いよ

マリー そういう問題じゃなくて。お父さん、もうちょっとわきまえてよ

ラグノー なんだよ

マリー 楽屋ってのは部外者が入っていいところじゃないのよ

マドレーヌ まあまあええやない、あんたのお父さんなんやから

マリー いや、うちだけじゃなく色んな劇団にも関係者づらして、女優さんと
馴れ馴れしく話して、気持ち悪がられてるのわかってないんですか

ラグノー 気持ち悪いだと？

カトリーヌ 別に気持ち悪いとなんか思っていないわよ

マルキーズ 毎回、素敵なスイーツもくれてね

ラグノー そうだ。腕を振るったもん持って来てるんだ

マリー それ、親父がパティシエだからですよ。そのへんのおっちゃんなら
どうですか

カトリーヌ・・・それでも、ありがたいじゃないですか

マルキーズ そうそう。何回も見に来てくれてありがたいなあって

ラグノー そうだ。年間200本くらい見に行ってたぞ

マリー 本当にそう思ってますか

カトリーヌ 当たり前じゃない

マリー お嬢様も？

アルマンド いや、実際気持ち悪いですよ

ラグランジュ ちょっとお嬢

アルマンド ちゃんと言った方が良いですよ。気持ち悪いですよラグノーさん

ラグノー 気持ち悪い？

アルマンド みんな思ってますよ、ねえ

ラグランジュ お嬢

アルマンド みんな言ってるじゃないですか

ウィルガン まあ、よく飲み会の肴には

カトリーヌ あなた

ラグノー そうなんですか

アルマンド 私たち俳優として舞台に立ってるんです。演技のファンになって
頂けるなら嬉しいですけど、素の私たちをチヤホヤするのは違いませんか？

ラグノー・・・

アルマンド 何度も劇場に通って頂けるのはとても嬉しいですけど、私はあく
まで夫の作った、作品を見て欲しいんです。私を見に来て欲しいんじゃない
ません

モリエール 立派なことだな

アルマンド たまには、妻らしい事も言えるでしょ

モリエール ああ、が、だったらな。チヤホヤしてくる貴族どもにも喜ぶなよ
アルマンド いや、あの人たちはタニマチだから
モリエール ちゃんと芝居見てないで点では一緒じゃねえかよ
アルマンド 身分が
モリエール 貴族だったら良くて、その辺のおっちゃんなら気持ち悪いとかお
かしいだろ
マドレーヌ セや、お客様を区別したらあかん
アルマンド でも
マドレーヌ 芝居がわかってるかなんて外からはわからんやろ。そもそもわか
ってなかったらあかんのか？どんなお客様でも来てくれたらありがたい話や
ないか。観劇おじさん気持ち悪いなんか罰当たりやで
ラグノー いや、すいません、調子に乗ってました
マリー お父さん
ラグノー これも持って帰ります
マルキーズ ラグノーさん
ラグノー マルキーズさん、昨日差し上げたマカロンも捨てて下さい
マルキーズ そんな、とても美味しかったですよ
ラグノー いや、まさか出演されてると思わなかったんで、調子に乗って話し
かけてしまって
リュリ 昨日？
ラグノー え？
リュリ ラグノーさん、昨日もうちに
ラグノー いえ
リュリ まあ、そうですね昨日は休演日ですから。では、どちらに
ラグノー 宮廷に
リュリ 宮廷でデュパルク嬢が出演をされていたと
マルキーズ あの
ラグノー ええ
リュリ どういうことですか。デュパルク嬢
マルキーズ それは
リュリ 昨日は宮廷でブルゴーニュ座の「アレクサンダー大王」が上演された
日でしたね。そこで出演していたというのは

マルキーズ

ラグノー マリー、もしかして僕まずいこといった

マリー うん、とても

ラグノー え、あのごめんなさい、とりあえずケーキ食べて

マリー 帰って

ラグノー でも

マリー 帰って

ラグノーはけ

モリエール なーにが恩知らずの芝居はやりつづける必要がないだ、
ようそんなことヌケヌケと言えたな

マルキーズ

マドレーヌ どういうことなん

マルキーズ . . . ラシーヌに出て欲しいと言われたんで

ウィルガン なんやそれ

ラシーヌ いや、あの、デュパルクさんのアクシーヌ、素晴らしかったんで

ウィルガン だからなんや

ラシーヌ あの、ブルゴーニュ座に持ち込む条件として、アクシーヌ役だけは
デュパルクさんを使って欲しいと

リュリ なるほど、最近やけ早く帰りたがっていたのも、ブルゴーニュ座と掛
け持ちしていたからということですか

モリエール . . . そんなこと許されると思ってんのか

トリリエール 契約上、掛け持ち禁止にはなってませんが

モリエール なんもん想定外だからだろ。休演日に黙ってヨソに出るとかよ

ラシーヌ あの僕が悪いんです。どうしても出て欲しいと言ったんで

マルキーズ . . . バロン、さっきなんて褒められた？

バロン え？

マルキーズ 役者だったら、ええと

バロン 役者ですから僕自身を最高の晴れの場で最高の演技をしたい

マルキーズ 座長、それに良く言ったとおっしゃいましたよね

モリエール ああ

マルキーズ 私もそちらに出演する方がキャリアアップにつながるとお思い
ました。いけませんか

モリエール うちにいても、意味がないと

マルキーズ 別に、座長の実力を否定はしていません。この12年間とても勉
強させて頂きました。ただ、夫も死んでお嬢が育って来て、最近の良い役も
もらえなくなってきたし、居続ける意義を考え始めたところに、ブルゴーニ
ュ座のお話を頂いたんです。いけませんか

トリリエール しかし、あなたメリセルトまで契約が残ってるんですよ

マルキーズ じゃあどうぞ（鍵をおく）

トリリエール これは

マルキーズ うちの鍵です。もう両親とは縁も切ってますし、部屋以外に財産
なんてないですから

トリリエール ならいいか

モリエール よかねえだろう。役者が身勝手な理由で降板するなんて許される
とってんのか

マルキーズ ですから、全財産おいて行くと

モリエール さっきいっただろ、んなもん抑止だ。実際には没収できんて

マルキーズ じゃあどうしたらいいんですか

モリエール 引退しろ

マルキーズ ？

モリエール 全ての作品は作家にとって子供だ。メリセルトにはお前にあて書
きした役もあるのに、それを降りるなんざさえるなら子供を殺されたも同じ
だ。命を持って償ってもらうしかない。もちろん、本当の命ではないが

マルキーズ 演劇生命ということですか

モリエール ああ出演の約束は役者にとって命の次に重い。病気・怪我でもな
いのに降板するんなら、二度と舞台に上がる資格はない

マルキーズ でしたら、それも契約書に書くべきでしたね

モリエール . . .

マルキーズ いいですよ。元々こちらの「アレクサンダー大王」も出て、それ
が終わってからブルゴーニュ座にも出る予定でしたから

ラシーヌ デュパルクさんそこまで無理しなくても

マルキーズ その後のメリセルトも出ますよ。そこまでは責任もって

トリリエール あ、ならいいんじゃないですか
モリエール よかねえわ。看板女優が引き抜かれたなんざメンツがたたん
アルマンド え、私が看板じゃないの
モリエール めんどくせえな。4人ともそれぞれ看板、でいいだろ
マルキーズ 私が引き抜かれたらメンツが潰れるんですか
モリエール 当たり前じゃ、ブルゴーニュ座の方が上ってことになんだろ
バロン 実際そうじゃないですか
モリエール なんだと
バロン いや、悲劇と喜劇が同格ってのはわかりましたよ。でも向こうは喜劇も出来る。喜劇しか出来ないうちより、悲劇も喜劇も出来る方が上じゃないですか
モリエール お前な。あいつらの演技みたことないのか
バロン ないですえけど
モリエール いや、あいつらおかしいからな
バロン どういうことです
モリエール やたら、誇張して台詞言うだろう。この前見に行ったら、モンフルーリなんか「はっきり言おうかアラスプ」ていえば良い台詞を「はっきり言おうかアラスプウ」とか言ってんだぞ。なんやねん、あれ。なんで二人きりで話してる時にあんな大げさに言わなあかんねんおかしいやろ
マルキーズ でも、それで受けてはいるじゃないですか
モリエール うけりゃあなんでもいってわけじゃないだろ
バロン さっきと言ってる事が違う
モリエール しかもみんなやたら白塗したがるだろ。なんやねんあれ
モリエール 別に笑いとりたかったら白じゃなくてもいいじゃないか。黒でも
ラグランジュ それは笑ってはいけないやつになるんで
モリエール 赤でも緑でも半分青いとかでもいいじゃないか
ウィルガン なんやそれ
モリエール うちとあそこじゃ109-0だな、あいつら0の劇団だな
バロン それはいいすぎじゃないですか
モリエール じゃあ、33-4ぐらいだな
ラシーヌ なんなんですかそのてきとうな数字は
モリエール あんなところに引き抜かれたんじゃメンツがたたん

マルキーズ　じゃあどうします？訴えますか？
モリエール　・・・おうやったろうやないか
ラグランジュ　いや、揉め事は避けて下さいよ
モリエール　なんでや、こいつが悪いんやろが
ラグランジュ　例えそうでも、訴訟をするってだけでイメージが
トリリエール　それに契約した舞台は出ると言ってる以上は
モリエール　くそ、客演禁止にしときゃ良かった
マドレーヌ　まあまあ落ち着き。マルキーズ
マルキーズ　はい
マドレーヌ　まあ、契約は守ってくれてるのはいいわ。無理に引き止めもせん。
でもな、座長の気持ちもわかってあげてな
マルキーズ　気持ちですか
マドレーヌ　せや、つまらんとと思うかもしれんけどな。座長にもプライドがあるんや。世間から、あんたに見限られたなんて思われとうないんや
マルキーズ　じゃあどうすれば
マドレーヌ　あんたがクビになったてことにしてもらえんか
マルキーズ　それは
リュリ　確かに、デュパルク嬢はブルゴーニュ座の宮廷公演に出演するなど不穏な動きを見せたため、残留を懇願したにも関わらずクビになった。ゆえにブルゴーニュ座に拾われた。で、あるならば我々のメンツもたつてしょうな
バロン　そんなの嘘じゃないですか
マドレーヌ　ええか、喧嘩をやめるにはな。実益とメンツどっちをとるかや、マルキーズが今すぐ移籍するて実益をとる、そのかわりにうちらはメンツをとる。実益もメンツもどっちもとろうとしたらいつまでも喧嘩をやめられんやろ
ラグランジュ　しかしそれでは、明日からアクシーヌはだれがやるんです
アルマンド　あ、私やる。やっぱヒロインは私じゃないと
ラグランジュ　お嬢の役の分はどうするんですか
マドレーヌ　それこそマリーにやってもらったら
マリー　いいんですか
トリリエール　しかし、今回も、メリセルトもデュパルク嬢が出ると告知してしまってるんですよ

マドレーヌ　しゃあないやろ
トリリユール　しかし陛下の御前ですよ
リュリ　では、こうするのはどうです
カトリーヌ　なにになに
リュリ　デュパルク嬢は、不穏な動きを見せたため劇団をクビになったうえ芸名まで没収された
マルキーズ　え？
リュリ　ゆえにマリー嬢が新たにマルキーズ・デュパルクを名乗る事になった
ウィルガン　確かに、それならマルキーズ・デュパルクは降板していないことになるな
バロン　なりませんよ。中身違うでしょ
マルキーズ　だいたい、私本名なんですけど
リュリ　君ね、本名だろうがこれだけ不義理をしておいて、今までの名前で活動したいとか図々しいとは思わないのか
ウィルガン　そや、お前なんか「マン」でええやろ
ラグランジュ　なんですかマンて
ウィルガン　いや、マルキーズのマにンをつけてんだよ
カトリーヌ　てきとうすぎでしょ
マリー　さすがに私がマルキーズ・デュパルクですて出て行っても笑われますよ。身長も全然違うし
リュリ　じゃあ、「新・マルキーズデュパルク」でどうかな
ラグランジュ　いや、新をつけたらいいもんじゃないでしょ
マドレーヌ　じゃあ、マルキーズデュパルク 2 世は
ラグランジュ　それじゃ、デュパルクの娘みたいになるじゃないか
アルマンド　どうせなら 3 世の方がなんとなくフランスぽくない
ラグランジュ　なんで 3 世ならフランスぽいんですか。てかそれじゃどのみち孫っぽいでしょ
ウィルガン　じゃあ、マルキーズ・デュパルク 2 号はどや
カトリーヌ　でも 2 号だと仮面つけてる感じしません
ウィルガン　じゃあ、3 号でも 5 号でもいいぞ
ラグランジュ　なんで 4 号がないんですか
ラグランジュ　なんで仮面なんだ。

トリリエール 帰って来たマルキーズ・デュパルクてのはどうですかね
ラグランジュ それじゃ本人が帰って来ただけだろ。別人感を出せよ
トリリエール じゃマルキーズ・デュパルクジャック
ラグランジュ どっから出て来たんですかジャックって
リュリ 今でた中ではどれがいい？
マリー え、今の中から選ぶんですか
モリエール 選ばなくて良い
マリー え
モリエール 少なくとも、こいつはメインキャストは無理だ
マドレーヌ そんなん言うてる場合ちゃうやろ
モリエール それでも妥協は出来ん
マドレーヌ なら、頭下げるの
モリエール それも嫌だ
マドレーヌ ほなどうすんの
モリエール ラグランジュ
ラグランジュ はい
モリエール ザヴォワ大公の劇団から客演を呼ぶ、依頼書をかけ
ラグランジュ マリーを使ってあげた方が
モリエール 出せ
ラグランジュ かしこまりました

ラグランジュ手紙を書く

モリエール まあ、そういうことだ。お前は不穏な動きをしたため追放された。
それでいいな
マルキーズ はい
ラシーヌ ……それはおかしい
モリエール なんだ
ラシーヌ デュパルクさんが、悪い事をしたから追い出されたなんてことにさ
れるのはおかしい
モリエール 実際、悪い事はしてるだろう
ラシーヌ 確かに、無断で移籍しようとした事は悪いかもしれない。でもなぜそ

んなことをしようと思ったかですよ

モリエール 自分のキャリアのためだろう

ラシーヌ 違う、あんた胸に手を当てて聞いてみろよ

モリエール なんだ

ラシーヌ デュパルクさんになにをしたんだ

モリエール は？

ラシーヌ 長年の自分に使えた看板役者の妻が未亡人になったからって、なにをしたんだと言ってるんだ

モリエール なにがいいたい？

ラシーヌ この男はルネさんが死んでからこの1年、寂しいだろうだの演技のためだだの言って、なにかにつけてデュパルクさんに言い寄って困らせたから見限られたんだろう。それを

モリエール . . .

ラシーヌ 20も下のただ若いだけの妻にヒロインだの、愛人には30過ぎても娘役ばかり与えて、デュパルクさんは落ちないからって端役ばかりじゃないですか。なにが芝居のためなら、人の道に外れるだ。実際は、性欲のために芝居を利用してるんじゃないか。

マリー そうか

モリエール なんや

マリー だから使ってくれなかったんですね。すいません馬鹿で

モリエール は？

マリー どうぞ。今からでも大丈夫です。行きましょう。奥

モリエール そういうことじゃないから

マリー じゃあなんでなんですか

モリエール お前は単純に下手だから

マリー そんなことないです、2年前に遊び人とつき合った時にそこそこ鍛えてもらいましたので

モリエール そっちじゃない演技だ

マリー あ、演技ですか。そこは大丈夫です。気持ちよくななくてもしっかり声は出しますから

モリエール だからそっちじゃないし、俺は下手でもない

マドレーヌとアルマンドとカトリーヌの3人 それはどうかなあ

モリエール んだと
マドレーヌ 早いのは筆だけにしろって
アルマンド 本当本当
モリエール うるせえ
マリー あの、つまり私じゃ試す気も起こらないと
ラグランジュ そういうことじゃないから
マリー でも、どうしても役者が
ラグランジュ 自分を大切にしなさい
マリー ラグランジュさん

マリー ラグランジュに抱きついて泣く

ラグランジュ ちょっと、しっかりしなさい
マドレーヌ 泣かせといたり
ラグランジュ しかし
マドレーヌ 奥で一緒にいてやり
ラグランジュ はい

ラグランジュ マリー はけ

マドレーヌ 確かに座長の女癖は最悪や。でもな、それがキャスティングに影響した事はない
アルマンド うん、つき合う前から役もらってたし
カトリーヌ 私も実力で娘役で当たり役を得たんです。失礼じゃないですか
リュリ そもそもだったらなぜ今回デュパルク嬢はヒロインを出来てるんだい
ラシーヌ・・・でもデュパルクさんにしつこく言いよってるにはかわりない
モリエール おお、それこそ劇団のためだよ。こいつはルネが死んでから不安定だったからな。紛らわす必要があったんだな
ラシーヌ 白々しいな。明らかに立場を利用した強要だろ
モリエール んなことないよ、断りたきゃ断って良かったんだし現に断られてるし
ラシーヌ 演出家と役者で時点で、対等じゃないだろ

モリエール んだと

ラシーヌ みなさん、本当に良いんですか？旗揚げ以来の長年の恋人をあっさりすてて、若い女と結婚しながら、人妻ともずっと不倫してるようなドロドロな現場で

ウィルガン みなまで言うな

ラシーヌ なんですか

ウィルガン うちはそれで成り立つとんのか

ラシーヌ は？

ウィルガン わかっとるわ。わしみみたいなド下手が残してもらえてるのも、妻のおかげなくらい。わかっとるからわかっとらんフリして、アホやってなやっつてられんのか、姐さんかて旗揚げ以来ほんまに支えて来たんや、今の座長があるのも姐さんのおかげや、それをよりによって自分の妹やぞ。悔しいに決まっとるやろ

ラシーヌ …

ウィルガン マルキーズにかてな。今にはじまったことやない、ルネが生きてる頃から、入団した頃からずっとや

ラシーヌ え、そうだったの

マルキーズ …

ウィルガン それでも出来た作品がよければ関係ない。部外者がガタガタ言うな

ラシーヌ …

マルキーズ では、劇団員なら言っただけですわ

ラシーヌ デュパルクさん

マルキーズ 座長、はっきりいって迷惑しています

モリエール そうか

マルキーズ 告発したいと思います、今まで数々の女優と同じく、被害に遭いました **Moi asuui**

リュリ どうしますか

モリエール どうするとは

リュリ 少なくとも、嫌がる女性をしつこく口説くのは善か悪かといえど悪だ。

モリエール お前に言われたくはないよ

リュリ 私の場合女性には限らないので

モリエール よけい悪いよ

リュリ Moi asuui されればスキャンダルになります

マドレーヌ そら痛いわな。男女間のスキャンダルは

リュリ 今日付けでこちらのメンツが潰れる形でも退団も認める、そのかわり

Moi asuui しない。いかがですか

マルキーズ . . .

ラシーヌ いいんですか、隠蔽ですよ

召使 顔を出す

召使 旦那様

モリエール だから、緊迫したところに入ってくんなよ

召使 大家さんがおこしです

アルマンド ダカンさんが

召使 はい

アルマンド なんで

召使 それが

召使 ダカンになる

ダカン ポ克蘭さん

モリエール なんですか大家さん

ダカン さっきはうちの妻にたいしたことをしてくれたようだな

モリエール ああ、追い出した話か

ダカン そうだ。招待しておいて、知りませんと追い出すとは失礼にもほどがあるだろう

マルキーズ すいません。あれは、私の説明不足で

ダカン そうだったの

マルキーズ はい

ダカン じゃあいいけども

アルマンド 家と扱いが違うんですけど

ダカン そりゃそうだよ。彼女らは私を批判するような芝居はしないから

モリエール あなたを、批判？

ダカン 明らかに、私をモデルにした人物とか出してるじゃないか

モリエール 確かに、私はこの時代の風俗を描いている。あなた方のようなインチキ医者たくさん書いている。しかし、特定の個人をモデルにした覚えはないですな

ダカン しかし明らかに私の言った発言を、大失言、大暴言かのように舞台に載せて笑いをとってたじゃないか

モリエール そりゃ、やりますよ。あんないかれた面白い発言、もっとたくさんのお客様に紹介して一緒に笑いたいじゃないか

ダカン それが失礼だと言ってるんだよ

モリエール しかし、それはあなただけじゃない、たくさん的人物のたくさん欠点を複合して架空の人物を作り上げてるんだ。そりゃ、見た人がこれは誰かに似ていると思うところがあって当たり前だ。が、それでこれは自分のことだと怒るなら、それこそその欠点は自分にあると宣伝しているようなもんじゃないか

ダカン ……くう

リュリ ……それよりもです。

モリエール なんだ

リュリ 彼女ら？

ダカン ん？

リュリ なぜ、デュパルク嬢と彼が関係があるのですか

ダカン え？（ラシーヌの方を見る）そりゃあ、ねえ

リュリ ……なるほど

モリエール ……偉そうに夫をなくしたばかりの方に言いよるのは人の道に外れてるだのなんだの、言ってくれるじゃないか

ラシーヌ ええと

マルキーズ ……同じことでも、座長には困ってるんです

モリエール なんでや

マルキーズ 臭いや臭い

モリエール なんや臭いって

マルキーズ 嗅いどったら気持ちるなんねん おえ

カトリーヌ ストレートすぎない
ウィルガン なんや、結局出来た男と一緒にいきたいだけやないか
マルキーズ 臭いはしゃあないやないですか、臭いは
カトリーヌ ちょ、がちで吐きそうじゃない
ダカン ああ、それはいかんな。ちょっと見せなさい
マルキーズ いいんですか
モリエール やめとけやめとけヤブ医者やぞ
ダカン うむ、これは血液が高熱を帯びていることが問題だな。よし、血を
抜くのがよかろう
マルキーズ 血液抜くんですか
モリエール 大げさ過ぎるだろ、ただの吐き気で
マルキーズ いちおう、吐き薬を貰ってるんですけど
ダカン だめだだめだ、そんなのはだめだ。血をぬきなさい
マルキーズ はあ
ダカン それから、君、君も体調が悪いだろう
ウィルガン 確かに、年なのか肘、肩、腰と関節という関節が
ダカン 光栄に思いなさい。陛下の主治医である私が直々にみてやろう
ウィルガン はあ
モリエール だからやめとけ、テキトーな診断されるぞ
ダカン うむ、これは血液が高熱を帯びてるな。血を抜くのがよかろう
モリエール さっきと一緒にじゃねえかよ
ダカン 悪いか
モリエール どうせ血抜き以外に治療を知らねえんだろ
ダカン いちいち私の診断に文句を付けるんじゃない
モリエール いい加減な診断で殺しまくってんだろ
ダカン なんだと
モリエール 陛下に対してだつてなにをしてる。こいつはな毎日浣腸を強要す
るわ、歯は万病のもとだと言って全部抜いて入歯にしてしまうとか、でなに
かあったらすぐ血を抜くだけ。テキトーな診断だけして患者が死んでも責任
も取らない。そういう奴なんだよ
ダカン なにをいう、それこそがヒポクラテス先生以来の伝統の治療なのだ
モリエール それで陛下は苦しんでるだろう

ダカン それは仕方のない事だ。病人というのは、医学部の同意を得ない限り
治ってはいけないものなのだ。3日なら3日、5日なら5日、早すぎず遅すぎ
ず診断通りの経過で治って貰わないとならない。医学の規則を破って助かる
くらいなら、規則通り死んでもらうことが大切なのだ

モリエール 聞いたか？聞いたか？規則を破って助かるくらいなら、規則通り
に死ねだぜ。馬鹿じゃん

ダカン 馬鹿にしやがって、お、追い出してやる

モリエール おう、やれるものならやってみろ。大家でありながら、私怨で借
り主を追い出したと陛下に上奏してやる。どっちがピンチかな

ダカン くう、覚えてろよー

ダカン 退場

モリエール 騒がしい奴だ

アルマンド 本当、私たちみたいな有名人が住んでるだけでもありがたいと思
って欲しいわよね

リュリ しかしまあおかげで良い事がわかりましたな

マルキーズ なんですか

リュリ デュパルク嬢は、陛下の御前に出演する約束をしておきながら、男女
の仲になった作家の芝居を優先したと

ラシーヌ なに

リュリ 間違いなく、陛下はお怒りになって君は二度とどこでも芝居はできな
くなるだろうな

ラシーヌ 悪いのは先生が先に手をだそうとしたから

リュリ どちらでもよい。私はそう上奏します。寵愛を受ける先生や私の証言
と君たちの証言、陛下はどちらを信用するかな

ラシーヌ それは

リュリ バロン、君のこともついでに伝えよう。噂の子役も、よくわからぬ理
由で陛下の御前芝居をとんだと。そういうことなら、我々のメンツは保たれ
る

モリエール 確かにな

リュリ さあ、どうしますか

バロン 権力使って脅しですか

リュリ ん？

バロン 権力にとりいって、思い通りにしようってことですか

リュリ なに

バロン 偉そうに風刺は芸術に必要な両輪だとか言って、陛下の威光を笠に、
気に食わない奴を攻撃して

カトリーヌ そんな言い方は

モリエール それは誤解だな。俺は権力にすり寄ったんじゃない。権力の方か
らすり寄って来たんだ

バロン でもそれを拒絶してないなら

モリエール わざわざファンになってくれる人を拒む事になんの意味がある

バロン でもそれは

モリエール 作家たるもの、発表の場がなければ意味がない

バロン 場ですか

モリエール 俺に持ち込みをしなきゃ、上演する場がなかったお前ならわかる
な

ラシーヌ・・・はい

モリエール この国はたまたま、ルイ14世という名君が治めている。まあタ
ルチェフの禁止は痛いけど、それでも彼はかなり私が好き勝手なことを書く自
由を認め、援助までしてくれている。ゆえに忠誠を尽くす。なにかおかしい
かな

バロン では、その自由をみとめない暗君の治世になったら

モリエール そうしないために書いているんだらう

バロン そうしないため

モリエール 書いても書いても、まだまだまだまだ風刺にする題材はいくらで
もある、偽善的な宗教関係者、規則に凝り固まった医者、極端にこびを売る
貴族、世界一の友情を誓うふりをして陰で悪口を言い合う上品な連中。風向
きの良い時だけやって来て言いよって来る卑怯な奴ら。まだまだ紹介しきれ
ない滑稽な人物が山ほどいる。まだまだ忠告しなけりゃならん、社会のひず
みはたくさんある。書かなければ、もっと社会は悪くなる。バロン、お前の
境遇だってそうだらう

バロン 僕の

モリエール 早くに両親を亡くしたくらいで、お前のような優れた若者があんな酷い環境に、いや優れてなくたってあんな暮らしをしてて良いわけがない。子供があんな劣悪な環境にいるなど我が国の恥だ。いずれ、100年後か200年後かわからないが、フランスから全ての人間には生きる権利があるという思想が生まれる日を、フランスに来たい奴なら誰でも来れるようになって300年も400年もしたら禿げたベルベル人や足の速いムーア人もフランス人になってフランスが世界一になるような日が来る事を願ってはいけないか

周りの劇団員 拍手

モリエール だが、おれは思想家ではない、劇作家だ。戯曲に起こし、お客さんを楽しませる事、つまり演劇という手段を使わなければならない。そのためには、劇団という発表する場を守らなければならない。そこで発表する作品は、考えられる上でベストの布陣で望まねばならない、そのためには質もメンツも守らなきゃならない。そのためには人の道に外れてもやるんだ

ラシーヌ それは、僕も一緒です

モリエール そうだろう。が、残念ながら俺とお前は今利害が一致しない、さて、どうするかな

モンフルーリ ひく必要はあああああああああ、ないっ

モンフルーリ入場曲を添え入って来る

モンフルーリ 待たせたな。ラシーヌううううう

モリエール お前、なんできてんだよ

モンフルーリ 馬車だよ

モリエール 交通手段を聞いてんじゃないよ

モンフルーリ 彼らを助けにきたんだあああああああよっ

バロン すいません、誰ですか

モンフルーリ よくぞ聞いてくれました。天知る地知る人が知る。そう我こそがブルゴーニュ座の看板 あらゆる戦いに負けた事がない無敵の モンフルーリだっ

バロン まじで、大げさすぎるやん
モンフルーリ モリエール、いい加減にいいいいいいいしっろ
モリエール だから長いねんて、普段からそれはおかしいだろ
モンフルーリ 「アレクサンダー大王」は断固として我々も上演する、日程も
替えられん
モリエール ラシーヌが引き上げると言ってもか
モンフルーリ 諦めろ。既に二人の心は我々に向いている。それを無理矢理引
き止めるんじゃああああないよ。なあラシーヌ
ラシーヌ しかし
モンフルーリ 心配するな。お前も、マルキーズも、我々が守る
モリエール だからなんでいちいち目線を決めるんだよ
モンフルーリ なあ、マルキーズ
マルキーズ ありがとうございます。おえおえ
ウィルガン またえづくんかい
マルキーズ おしろいの臭いが
ウィルガン どんだけ臭い弱いねんて

カトリーヌ マルキーズに近づく

カトリーヌ マルちゃんさ
マルキーズ なに
カトリーヌ …つわり？
マルキーズ それは
マドレーヌ はっきりいい
マルキーズ はい
ラシーヌ ……本当か
マルキーズ ……みたい
リュリ ちょうどいいのではないですか
ラシーヌ ちょうどいい？
リュリ トリさん、役者の妊娠時の契約は
トリリエール 無条件に降板を認めることに
リュリ ならいいでしょう。妊娠での降板であればこちらのメンツは潰れない。

ブルゴーニュ座にも立てないのだから痛み分けた。ちなみにまだ初期ですよ
ね

マルキーズ はい

リュリ なら、復帰は早くて来年。その頃には

トリリエール 契約は切れてます

リュリ 復帰後にヨソに行っても、メンツは守れるでしょう

モリエール 仕方あるまい

モリエール マルキーズに近づく

モリエール 今までありがとう。お大事に

マルキーズ ありがとうございます

モリエール アルマンド

アルマンド なに

モリエール お前がアクシーヌ役だ。

アルマンド 大好き

モリエール 調子いい奴だな

アルマンド んん？

モリエール さ、帰ってくれ。もう争う必要はない

モンフルーリ そうだな

ウィルガン いや、普通に喋れるやん

モリエール そっちはどうする

モンフルーリ こっちも代役探すよ

ウィルガン 声、かつさかさやないか

ラシーヌ・・・ちょっと待って下さい

モンフルーリ なんだ

ラシーヌ アクシーヌは、マルキーズを使うのが条件なはずですよ

モンフルーリ でも無理だろう

ラシーヌ では、延期してもらえませんか

モンフルーリ 何言ってるんだ。モリエールのところが終わり次第、すぐうちが
やらなきゃ話題にならない

ラシーヌ でも、彼女あってこそその作品なんです。それじゃ満足いく作品にな

らない

モンフルーリ そこは妥協しなさい

リュリ 妥協しなくて良い手があるじゃないか

ラシーヌ どんな手ですか

リュリ 妊婦じゃなくなれば良い

間

モリエール 確かに、それなら出来るな

マルキーズ ……おろすよ

ラシーヌ マルキーズ

マルキーズ アクシーヌ役、譲りたくないもん

ラシーヌ でも

マルキーズ 生むのは私でしょ

ラシーヌ でも、夫にも選択権は

マルキーズ 夫？

ラシーヌ ？

マルキーズ 私の夫はルネだけや、調子に乗るな

ラシーヌ ……父親にも選択権が

マルキーズ よろしい、じゃどうしようか

ラシーヌ ……

マルキーズ 舞台と子供、どっちを諦める？

ラシーヌ ……

マルキーズ どうする？

ラシーヌ ……

マルキーズ (手をたたく)

モンフルーリ、急いで白塗りを落として召使に

召使 お呼びでしょうか

マルキーズ 15番街に住む、ラヴォワザンという者を自宅に呼ぶように

召使 ラヴォワザン様というのは

マルキーズ 友人の黒魔術師です。彼女が中絶に効く薬を持っています

ラシーヌ 待ってくれ

召使 はい

ラシーヌ それはダメだ

マルキーズ ラシーヌ

ラシーヌ それはダメだ

召使 白くぬってモンフルーリになる

モンフルーリ じゃあ、代役だな

ラシーヌ 仕方ないです

モンフルーリ 去る

モリエール 拍手

モリエール おめでとう

ラシーヌ (にらむ)

モリエール お別れのような

ラシーヌ あの

モリエール もちろん、契約金は払わない。それ以上は止めようがない

ラシーヌ 申し訳ないです

モリエール しかし、無念さは飛んだ。お前は作品の出来より人の道を選んだ。

その程度の演劇人にもう教える事はない。演劇人としては私の勝ちだ。そう、お前はもうマケドニア

ラシーヌ . . .

モリエール マルキーズ、12年間、ありがとう。

マルキーズ いえ (荷物を整理してもっていこうとする)

モリエール まて、ルネの遺品は置いて行け

マルキーズ え?

モリエール お前にはもう必要ないだろう

マルキーズ . . .

ラシーヌ いや、僕は気にしないよ

モリエール お前に気遣ったんじゃない。ルネはうちの劇団のものだ。お前にはやらん
マルキーズ わかりました

ラシーヌにサスを当てる

ラシーヌ こうして、私とモリエールは決別しました。確かに彼の芝居のためなら人の道も外すという精神を完全に否定はしません。しかし、私はここで人の道を外さなかったことは後悔していません。その後も彼は、私が「アンドロマック」という代表作を書いた後は、わざわざアンドロマック批判という、批判するだけの戯曲を書くなど、私を執拗に攻撃して来ました。そういう男なのです。確かに喜劇の才能はあった。しかし、そんな男がフランスを代表する作家として後世に残るとするのは、残念でならない。私はそう思うのです

ラシーヌ深々と礼をし、ここで終演しそうな雰囲気になる

バロン いや、それは嘘だな

明転するとバロンとグリマレがいる
1673年3月に戻っている

ラシーヌ なんだよ
バロン だって嘘じゃないですかその証言
ラシーヌ そんなことないだろ
バロン あなた、デュパルク嬢との間に子供いないじゃないですか
グリマレ そうなんですか
ラシーヌ・・・はい
バロン いや、あの日はああ帰ったけど、結局おろしたでしょ
グリマレ まじすか
バロン そうですよ。あの後、「結局おろしたんで契約通りメリセルトまでは出ます」で戻って来ましたもん。僕共演してますからね

ラシーヌ ……色々冷静に考えたら、今は子供よりいっぱい舞台に出たいって
ことになったんだよ

バロン そんなんくり返してるから、中絶中の事故で死んじゃったんでしょ

グリマレ そうだったんですか

ラシーヌ あれはラヴォワザンみたいなインチキ黒魔術師に頼むから

バロン そんなこととして、じゃあ自分は人の道を外さなかったみたいに言
わないで下さいよ

ラシーヌ 話の流れだ

バロン いや、単に先生を悪く言いたいだけでしょ。確かに、うちアンドロマッ
ク批判上演しましたが、あれ先生が書いたんじゃなく若手の持ち込みだし、あ
んたもそれに対抗してうちを揶揄した作品書いてやりあったじゃないですか。
なんか自分が一方的にやられてるみたいに被害者面すんなって

ラシーヌ ……

バロン それどころか、あなたに比べりゃ先生はけっしてそんな人じゃない

グリマレ どういうことですか

バロン おかしいと思いません、あの流れでなんで僕がまだモリエール劇団に
いるか

グリマレ 確かに

バロン ええ、あそこから続きがあるんですよ

暗

1665年12月16日に戻る

モリエール さて、バロン。お前は どうする

バロン はい

モリエール これから役者として活躍するために、メリセルトまでは我慢して
留まるか、王の命に逆らって引退するか

召使 顔ただけです

召使 旦那様

モリエール どうした

召使 レザン夫人がおこしです

モリエール レザン夫人が

召使レザンになる

レザン ご無沙汰してますモリエールさん

モリエール どうも

レザン 先日は、うちの大事なバロンを引き抜いて頂いてありがとうございます

モリエール 約束の舞台は全て出させてからの引き抜きだ。おたくに迷惑はかけなかったはずだが

レザン いえいえ大迷惑です。動員がガバッと下がりましたから

モリエール それはたいへんですな

レザン でも、バロンから戻りたいという話を聞きましたから

モリエール そう言っているようすな

レザン ええ、私嬉しくて迎えにまえましたの

モリエール そうですか

レザン ええ、来月の公演もバロンが出れば成功間違い無しですから

モリエール ですが夫人、生憎ですがそう簡単には参りませんよ

レザン どういう意味です

モリエール 彼は陛下の御前で芝居をする予定です。そこをすっぽかすようであれば、不敬であると報告いたしますので、おそらくバロンは引退せざるをえなくなるかと

レザン そんな

モリエール ですので、あなたの下に戻っても今すぐは舞台に出れる事はない

レザン じゃあ、次の公演は

モリエール 次の次の公演まで待つ事すな

レザン それまで待てるかー

レザン、銃をだす

モリエール なにするんだ

レザン 今すぐ返せ、返さないとうつ

みんなキャーキャーいう

モリエール 馬鹿な事言うな

レザン 馬鹿じゃない。本気だ

モリエール こっちへ渡せ

ラグランジュ マリー 出て来る

ラグランジュ なんの騒ぎです

レザン 来るな

マリー ラグランジュさん危ない

マリー ラグランジュを突き飛ばすもレザンの足下に来てしまう

マリー レザンに捕まる

ラグランジュ マリー

ウィルガン なにやっとなねん

レザン さあ、バロンを返しなさい。返さないと、この子をうつ

マドレーヌ なに言ってるんですか

レザン さあ、早く返しなさい

バロン 無駄ですよ

レザン え？

バロン この娘は劇団に必要な子じゃないですから

アルマンド なに言ってんのよ

バロン 役者失格の小間使いです。代わりはいくらでもいる

カトリーヌ それこの状況で言う

バロン ですから、人質になってないです

レザン ……

バロン この人は芝居のためなら人の道を外す人ですから、見捨てますよ。ですから、人質には

モリエールその隙にラグ、トリ、リュリと打ち合わせ

モリエール おっりゃあああ

モリエール走り出す
スローモーションになる
レザン思わずその方向にうつ

リュリ ちえすとおおおお

リュリ指揮棒で銃弾を交わす

ウィルガン な、なんやそれええええ
モリエール いけえ
ラグ&トリ はい

ラグランジュ、トリリエールその隙にレザンを押さえ込む

モリエール はい、お帰り下さい
レザン 離して
モリエール メリセルト、終わったら帰しますからお帰りを
レザン でも
モリエール ラグランジュ
ラグランジュ はい
モリエール 2000リーブルほどもってこい
ラグランジュ なぜ
モリエール それでそれまでしのいでください
アルマンド そんなの渡す必要
モリエール 安いもんだろ
レザン あなたね、世の中なんでもお金で買えると思ったら大間違いですよ
モリエール 倍渡してやれ
レザン しかし、私の心はお金で買える

レザン 受け取って帰る

ウィルガン お前すごいな、それなに？

リュリ ただの指揮棒ですよ。リズムをとりたくなかった時のために持ち歩いてるんです。こんな感じに（床を叩く）

ウィルガン へえ、そんなんして足ガツーンてやったりしないの？

リュリ そんな間抜けな事はしません

ウィルガン いやあ、すごいみんなすごい。アイコンタクトであれだけ出来るとはすごい連携力や

モリエール いや、あんたにもしてたけどあんただけ気づいてくれなかったんですよ

ウィルガン すまん

マリー 座長、私のために

モリエール 当たり前だ。大事な劇団員だろう

アルマンド 無茶やめてよ

モリエール すまんすまん

アルマンド 死んだらどうすんのだよ

抱きつく

モリエール アルマンド

アルマンド あなたが死んだら私どうなるのよ

トリリエール その場合は保険金が10万リーブル

アルマンド そういうこと聞いてんじゃないのよ

トリリエール え

モリエール ……今日は解散だな

ラグランジュ かしこまりました。では、締めます

ウィルガン おお、疲れたな

カトリーヌ そうね

ウィルガン ほな。ラグノーの持って来たケーキ食おや

マリー いや、本当無理しなくていいですよ

ウィルガン なに言うとなねん、持って来た奴が気持ち悪くても差入に罪はな

い

ウィルガン フォークを探しに行く

トリリエール では、お疲れ様です
マドレーヌ 相変わらず早いわね
トリリエール そういう契約ですから

トリリエール ハケ

マリー あの座長
モリエール なんだ
マリー 大事な劇団員てのは
モリエール 大事な小間使いをしてくれる劇団員という意味だ
マリー . . .
モリエール 今のと、次の公演ではな
マリー え
モリエール 次の次からどうなるかはお前次第だ
マリー ありがとうございます
モリエール ラグランジュ
ラグランジュ はい
モリエール 送って行け
ラグランジュ 残務が
モリエール 今日は良い
ラグランジュ はい

ラグランジュ、マリーはけ

モリエール 俺らも帰るか
アルマンド うん
モリエール じゃあ、久々に
アルマンド 私は買い物してから
モリエール なんでだよ

アルマンド だって、明日のパーティーじゃん。準備必要じゃん
モリエール この流れでかよ
アルマンド なんでダメなん
マドレーヌ アルマンド、たまには奥方の勤めも考えなさい
アルマンド は？独身のお姉ちゃんに言われたくないんですけど
モリエール もういいよ。一人で帰れよ
アルマンド (したうち)

ハケ

モリエール なんなんだあいつは
カトリーヌ まあまあ、いいじゃないですか、タニマチとつき合うのは夫人しか
できない仕事ですよ
モリエール そやけど
カトリーヌ 一人に全部支えてもらおうてのがずうずうしんですよ。外交と宣
伝はお嬢、芝居と運営は姐さん、愚痴と性欲は私でしっかり役割分担出来て
るじゃないですか
モリエール だからといってむかつかないことはない
マドレーヌ しゃあないやん、まだ25やで
モリエール お前がちゃんと教育してないからやろ
マドレーヌ なんで私が教育せなあかんの
モリエール そら娘やろ
マドレーヌ 看板女優に娘がいたらイメージ悪すぎる言うて、妹てことにしと
いてくれ言うたのは誰ですか
モリエール すまなかった
マドレーヌ あら、素直でええ子やなあ
モリエール マドレーヌ
マドレーヌ ベタベタしない
モリエール なんでや
マドレーヌ 別れた女には普通ベタベタせんのか
モリエール えー
マドレーヌ そのためのカトリーヌやろ

モリエール 今日はお前が良い
マドレーヌ いくつやと思ってんのや
モリエール やだ
マドレーヌ カトリーヌ。頼むわ
カトリーヌ うーん、さすがに2日連続は旦那に悪いんで、今日は帰ります

ウィルガンフォーク持ってくる

ウィルガン カトリーヌ、フォークあったで
カトリーヌ ん、食べようか

カトリーヌとウィルガンいちゃいちゃしながら食べる

モリエール ああ
リュリ 私でよければ
モリエール ・・遠慮しておこう
リュリ では

リュリ 去る

ウィルガン お、めっちゃ美味いで
カトリーヌ 食べましょう
マドレーヌ そやね

みなでわけあう

マドレーヌ 食わんの
モリエール おれはお菓子はいい
マドレーヌ 気づけてその体調なら意味ないやん
モリエール うっさいな

モリエールハケ

ウィルガン おう、バロンも食わんか
バロン 僕は食べる資格は
マドレーヌ 気にせんとき

バロン 輪に入る

バロン 先生、なんでマリーさんを救ったんですかね
カトリーヌ え
マドレーヌ そりゃ劇団員だからや
バロン でも、必要な人じゃ
マドレーヌ あの人のはな。根は優しい人なんよ
バロン 根は
カトリーヌ まあ、根以外は優しくないけど
マドレーヌ アルマンズの父親に逃げられて、失意やった私を元気づけるために口説いて口説いて、芝居したこともないのに劇団旗揚げしてまでなぐさめようとしてくれた人や、ほんまに優しいんよ
カトリーヌ 姐さんノロケ過ぎ
ウィルガン わしをずっと置いといてくれるくらいやで
バロン それは・・・あれなんじゃないですか
ウィルガン そやけどさ
カトリーヌ まあ、基本的に自分から追い出したりしないしね
バロン それは芝居のためならて矛盾してませんか
カトリーヌ そうよ。あるときなんかさ、すごい上手い若者が入れて下さいて来たのに、相手の家業が弁護士だってわかったら、絶対後を継ぎなさい、役者なんてそれ以外に道がない者の最後の手段か、真面目に働きたくない放蕩者のやることだって言って追い返したんだから
ウィルガン まあ、実際そやしな
マドレーヌ そういう人やから、世の中の矛盾にしょっちゅう腹を立てて、ああいう本が書けるんや思うで
バロン そうですか

バロンにサスを当てる

バロン こうして、私はその後もモリエールの下に残りました。そうです。彼は確かに、賛否両論があり、本人も偽悪ぶるところがありましたが、けっして世間で言われるような悪い人間ではなく、人間愛に溢れた優しさを持った人間だったのです。だからこそ、社会の悪に怒りそれを風刺し、人を笑わせ心を打つ作品を創れたのでしょう。私は、その最後の弟子として学べたことをとても誇りに思っています

そのまま終演しそうな雰囲気になる

リュリ いや、それは嘘だな

明転する リュリ ラシーヌ グリマレがいる

バロン なんだよ

リュリ 久しぶりだな

バロン リュリさんがなぜ

グリマレ 私が呼んだんです

バロン なぜこんな奴を

リュリ こんな奴とは失礼だな

バロン こいつは、作曲だけじゃ満足出来なくなってオペラを作るために裏切り、王に取り入ってうちの妨害までしたんだぞ

リュリ お言葉ですが、それこそが先生の、作品のためなら人の道に外れても良いということを実践した結果です

バロン なに

ラシーヌ 確かにそうですね

リュリ それにだ。さっきの君の証言は嘘だろう

バロン なに

リュリ こいつ、メリセルト終わった後予定通り、いったん辞めたからね

グリマレ そうなんですか

リュリ レザン夫人の劇団が全然売れないからキャリアにならんって、戻って来ただけじゃないか

バロン ・・そこははしょってもいいところだろう

グリマレ いや、よくないですよ

リュリ ようは、自分の師匠は作品だけでなく人格も優れていた、ゆえに自分も立派なのだって言いたいただけだろ

バロン それのなにが悪い

ラシーヌ わ、開き直った

バロン クソみたいな奴の弟子や言うより心証いいじゃないですか

リュリ いや、それで忠誠つくしてんならいいよ。でも、君、契約満了したらブルゴーニュ座に移籍するらしいじゃないか

ラシーヌ え、まじで

トリリエールはいつくる。すでに白塗りをしている

トリリエール それはね、私が誘ったんですよ。契約満了なら問題ないし、一緒に移籍しなあああいかって

ラシーヌ 口調まですでにブルゴーニュ座仕様だ

グリマレ あの、あなたモリエールに恩義を感じてるんじゃないんですか

バロン もちろんですよ。でも死んじゃいましたから、今は未亡人だからってあのムカつくお嬢が仕切ってるし、いくら先生の戯曲でも演出してるのがラグランジュ夫妻ですよ。奥さんの方なんかあの頃は、役者でもなかったくせに偉そうにしてて。あんな人らの演出受けてもキャリアにならないし、ほら、キャリアのためならうんたらなんて、まさに先生の教えを体現してるじゃないですか

ラシーヌ それはいい、それはいいがだったら私たちと一緒になんだから、偉そうな口たたくなよ

バロン 一緒じゃありません、僕は生きてるうちは忠誠尽くしてましたー。

存命中から裏切ったあんたらと一緒にしないでくださいーい

リュリ だから、存命中から一回退団してたじゃないか

バロン そこははしょっていいって言ってるじゃないですか

ラシーヌ よかないよ

グリマレ こうして、彼らは取材をしている私の前で罵り合いを続けました。

リュリ、ラシーヌ、バロン、モリエールが可愛がってきた後輩たちは、それぞれモリエールを裏切り互いが互いを罵り合う姿を見てモリエールはなにを

思うのでしょうか、怒るのでしょうか。いえ、私には彼らこそが、作品のためならいかなることもするという彼の思想を受け継いでいると喜んでいるのではないか、そうも思えるのです

モリエール以外の登場人物が出てきてカーテンコールをする
普通の劇団が上演する場合はここで終演することを勧める
ここからは、笑の内閣で上演したものを記す
その瞬間モリエールが出てくる

モリエール またんかいこら

プロレスの入場曲風な音楽でモリエールが出てくる

モリエール この作品書いたやつ、出てこいやあ

作・演出の高間響、プロレス風な入場曲で入場

高間 お前、何勝手に止めとんねんこら

モリエール うるせえこら

モリエール、高間に対してスタナーを食らわせる
これ以後、周りの人物はモリエール派と高間派に分かれヤジを飛ばし合う
2人マイクを持ってプロレスのマイクパフォーマンスのように話す

高間 何すんねんこら

モリエール 嘘ばかりついてんじゃねぞ

高間 どこが嘘だこら

モリエール グリマレが伝記書いたのは死後30年後だし。マルキーズ本名やなく芸名やし、タルチェフのコンデ大公の館での上演はルネの生きてる間の話しやし、他も細々色々あるぞ。1665年当時の劇団員かて、3、4人はしょってるやろ

高間 そりゃ特にキャラ立ちしてない役無駄に何人もだしてもしゃあないやろ。

ギャラいくらかかると思っとんねん
モリエール 人の気持ちを勝手に推察すんなよこら
高間 結構お前の主張を取り入れてるやろ。劇中の台詞はほとんど、モリエールの戯曲を引用だろ
モリエール 都合のいいところだけだろう。お前の主張と合致するところだけ引用して、あわない台詞は引用してないじゃないか
高間 俺の劇団なんだからなにが悪いんだこら

マイクを床に叩きつける

モリエール それで、今回は古典に挑戦します。モリエールやりますはおかしいだろう
高間 なんだこら
モリエール 古典に挑戦するというのは、ある程度脚色するにしろ、その作者の作品をやることであってな、モリエールやりますとって、俺や俺の劇団の物語を書くのは、シェイクスピアに挑戦しますと言ってマクベスやリア王じゃなく「恋に落ちたシェイクスピア」やるようなもんじゃねえか
高間 だったら言わせてもらうけどよ、お前の本はそのまま上演するような本じゃねえんだよ
モリエール どういう意味だ馬鹿野郎
高間 確かに風刺の台詞の鋭さはすごいし、コメディシーンのドタバタ感は今でも笑えるし素晴らしいよ。でもオチが弱い
モリエール なんだと
高間 なんか結局いっつも若い娘が好きな男がいるけど、親は金持ちと結婚させたいとかしょうもないのばかりじゃねえか
モリエール それだけじゃないだろ
高間 確かに宗教的偽善を描いたタルチェフとかドンジョアンとか深いテーマもありますよ。しかし、オチが弱い
モリエール なんだと
高間 なんか結局、好きな男も実は金持ちだったとわかったんで結婚許さすとかしょうもないオチばかりじゃねえか、タルチェフも途中まですげえ風刺だとか見せといて、結局王様は全部タルチェフの悪時を見抜いてました

ちゃんちゃんで、なんやねんそれ
モリエール ……だったら最初から俺のやんなよ
高間 そういますか？むしろ感謝してほしいくらいなのにねえ
モリエール なにが感謝や
高間 いや、フランスでは有名かもしれませんが、日本じゃねあなたのこと
誰も知りませんよ。世間の人、シェイクスピア以外しりませんからね、ギリ
ギリチェーホフは知ってても作品まで知らんし、いわんやモリエール、誰も
知りませんよ
モリエール まじか
高間 それを面白い台詞だけ引用して、うちのお客さんにあなたという人物を
紹介したんだ。感謝して欲しいですな

周りのヤジが完全に高間派になる

モリエール 確かにそうかもしれん、しかし、君は間違ってる
高間 どういうことですか
モリエール まず、私が日本で知られてないのは、私のせいではない。日本の
演劇人が、諸外国と違って、まともに古典を触れなくても演劇人を名乗れる
という異常な状況であるからだ
高間 それの何が悪いんだバカヤロー
モリエール 次に、オチがしょうもないという点だ。
高間 しょうもないやろ
モリエール いいか、喜劇というのは時代性が強いものだ。笑いというのは、
時代で常に変化する。ゆえにオチがしょうもないというのは君の現代の価値
観でしかない。むしろ、今もなお普遍性をもって笑える台詞やシーンがある
だけですごいとは思わないのかね
高間 翻訳者がすごいんだよ。秋山伸子先生が
モリエール 逆に言えば、君は350年のリードがあるにも関わらず、私にダ
メ出しをするばかりで、台詞は引用しこんなオチを用意してる時点でまった
くかなってないと言えないかね
高間 いや、これはあなたがヴェルサイユ即興劇でやったメタ的構造のオチの
オマージュであって

モリエール だ。オマージュていえばなんでも許されるやつ、ぱくりだろ

周りが完全にモリエール派になりパクリコールに

高間 パクリじゃない

モリエール だいたい君はね。私の経歴を調べて、自分こそがモリエールの生まれ変わりだとか言ってるようだが、てんでおかしい。私は36でパリに帰還し売れたが、君は34で売れる気配はないし、前座をしてるといってもそんな主宰はたくさんいるし、政治家に気に入られてるといってもルイ14世と福山哲郎じゃ格が違うし、女優への口説き癖も、私はきちんと落としているが君は全然モテてないし、裏切り者への攻撃だって私はちゃんと宣伝こみの戦略をもってやっているが、君はがちでへこんで通院するくらいだし、劇団員だってうちの方がずっとうまい。気前がいいとか、几帳面とか私の良いところは全然にないケチでだらしない男だし。君ごときが、たかが風刺をしてるくらいで、私の精神を体現しているなど、おこがましすぎる。恥を知りなさい、恥を

高間 ・・・そこまで言わんで

全員 モリエール！！

みんなでモリエール音頭を踊る

♪「モリエール音頭」2番
やたら女優にゃ手を出すし
批判されればムキになる
底意地悪さはタマに傷だけど
芝居のためなら一心不乱
皮肉たっぷり 風刺をきかす
エスプリ 体現する男
我らが大将 モリエール

カーテンコール

♪「モリエール音頭」3番
北の大地で産まれて育ち
京の都にやってきて
劇団立ち上げ プロレスするも
いつの間にやら時事ネタ路線
賛否あれどもへこたれなけりや
未来はバラ色 売れっ子よ
我らが大将 ひびきちゃん

幕